

6. 職業倫理規定

(1) ICOM 職業倫理規定

イコム職業倫理規程(2004 年 10 月改訂)

目次

初めに ジェフレイ・ルイス

前説

イコム職業倫理規程の地位

博物館のための最低基準

イコム職業倫理規程の翻訳

用語解説

セクション

1. 博物館は人類の自然・文化遺産のさまざまな側面を保存し、解釈し、促進する

・施設の地位

・物的資源

・財源

・人員

2. コレクションを信託を受けて保有する博物館は社会の利益と発展のためにそれらを
保管するものである。

・収蔵品の取得

・収蔵品の除去

・収蔵品の管理

3. 博物館は知識を確立し深めるための主要な証拠を持つ

・主要な証拠

・博物館の収集と研究

4. 博物館は自然および文化遺産を鑑賞し、楽しみ、理解し、管理する機会を提供する。

・陳列と展覧会

・他の資源

5. 博物館の資源は他の公的サービスや利益の機会を提供する。

・鑑定サービス

6. 博物館の業務

- ・収蔵品の起源
- ・奉仕される地域社会への敬意

7. 博物館は法律に従って事業を行う

- ・法的枠組み

8. 博物館は専門的に事業を行う

- ・専門職的行動
- ・利害の衝突

はじめに

イコム職業倫理規程の今回の版は 6 年に及ぶ改訂作業の到達点である。イコムの「規程」を当時の博物館の実践に照らして全面的に見直したのち、旧版に基づいた改訂版が 2001 年に発行された。そのときに想定されていたように、これは完全に形式を改め、博物館専門職の姿と感触を与え、専門職業実践の基本理念に基づいて一般的な倫理の指針を提供するように作られた。この「規程」は 3 期にわたりイコム会員に諮られ、2004 年のソウルにおける第 21 回総会において喝采とともに承認された。

この文書の全体の精神は、社会、地域社会、公衆とそれらのさまざまな構成員への奉仕および博物館の実践者の専門職意識である。新しい構成、主要な点の強調と短くなった文の各段落の結果、規定全体に強調の変化が起きたが、まったく新しいものはきわめて少ない。あたらしい特徴は 2. 11 項と 3, 5, および 6 セクションに略述した基本理念である。

イコム職業倫理規程は、国レベルの法律では多様で一貫性に乏しい公的な規定の主要な部分における専門職の自己規制の手段を提供する。それは、世界中の博物館の専門職員が無理なく待ち望んでいる行動および実践の最低基準を設定したものであり、博物館の職業に求められる理にかなった公衆の期待を表明したものである。

イコムは、1970 年に「資料取得の倫理」を出し、「倫理規程」の完全版を 1986 年に発行した。現在の版およびその 2001 年の暫定版はそれら以前の仕事に負うところが大きい。しかし、改定と再構成の大半の作業は現在の倫理委員会のメンバーが受け持ったのであり、実際の会合や電子手段を通じてのそれにおける彼らの貢献と、目標と日程に合わせようとする彼らの決意に対し感謝の意を表する。

旧版同様、今回の「規程」は世界中どこでも利用できる最低基準を提供するもので、各国および専門家の団体は、これを基にそれぞれの特有な要求を満たすものを作成することが可能である。イコムは、固有な要求を満たす各国および専門家の倫理規程の展開を奨励し、その文書の提供を受けたいと思う。これらは Maison de l'Unesco, 1 rue Miollis, 75732 Paris Cedex 15, France のイコム事務局あてに送付願いたい。E-メールは

secretariat@icom.museum

会長

ジェフレイ・ルイス

イコム倫理委員会(2001 年から 2004 年)

会長:Geoffrey Lewis (英国)

会員: Gary Edson(米国), Per Kaks(スウェーデン), Byung-mo Kim (韓国), Pascal Makambila (コンゴ), – 2002 年から;Jean-Yves Marin (フランス), Bernice Murphy (オーストラリア), 2002 年まで;Tereza Scheiner (ブラジル), Shaje’a Tswiluiluila (コンゴ民主主義共和国), Michel Van Praet (フランス)

前説

イコム職業倫理規程の地位

イコム職業倫理規程は国際博物館会議が制作したものである。これはイコムの規約の中に言及される博物館のための倫理の声明である。この「倫理規程」は、国際的な博物館共同体で一般に受け入れられている基本理念を反映している。イコムの会員であることおよびイコムへの年会費の納入はこの「倫理規程」の肯定を意味する。

博物館のための最低基準

この「規程」は博物館のための最低基準を提示したものである。望ましい職業的実践のガイドラインに裏付けられた一連の基本理念として表されている。国によっては、最低基準が法律、または国の規則で規定されている場合がある。また、最低基準に関する指導または評価が「認可」、「登録」もしくは類似の評価的措置の形で行われる国もある。こうした基準が国内で規定されていない場合には、イコム事務局、イコム国内委員会、または適切なイコム国際委員会を通じて指導を受けることができる。また、個々の国と博物館と関連する専門的な事柄に関する組織もこの「規程」を追加の規程を作るうえで基本とすることも意図されている。

イコム職業倫理規程の翻訳

イコム職業倫理規程は英語、フランス語、スペイン語の 3 ヶ国語で出版されている。イコムはそのほかの言語に「規程」を翻訳することを歓迎する。ただし、翻訳は少なくともその言語が通常第一言語として話されている国の、ひとつの国内委員会によって裏書された場合のみ「公式」とみなされる。一カ国以上で話される言語はそれらの国の国内委員会にも相談することが望ましい。公式の翻訳を提供するに当たっては、語学および職業的な専

門性を要することに注意が払われなければならない。翻訳に使用した言語版と関与した国内委員会の名前を示すこと。これらの条件は、この「規程」もしくはその一部の、教育的仕事もしくは研究目的の翻訳を制限するものではない。

用語集

鑑定 資料または標本の真正の認定および評価。国によってはこの用語は、申出のあった贈答品の税制上の優遇措置適用に当たっての独立した評価のために用いられる。利害の衝突 個人もしくは私的利益が存在するために、業務執行上原則の衝突が生じ、意思決定の客観性が制限され、もしくは制限されるように見えること。

取引 個人もしくは施設の利益のための物品の売買。

正当な注意義務 一定の決定をおこなう前に問題の事実関係を明らかにするためにあらゆる努力を払うという必要条件。とくに、資料の取得もしくは使用の申し出がおこなわれた際、承諾前に当該資料の出所および経歴を明らかにすること。

保存・修復者 文化財の技術的調査、保護、保存、修復をおこなう資格がある博物館または独立した職員。詳しくはイコムニュース39(1)5-6ページ(1986年)参照

文化遺産 美的、歴史的、科学的もしくは精神的に重要であるとみなされるあらゆる概念または事物。

管理機関 博物館の権能を付与する規則によって、博物館の存続、戦略的發展、財源に責任あると規定された人々あるいは組織。

収益活動 施設のための財政上の利得もしくは利益を目的とする活動。

法的権利 当該国における財産を所有する法的権利。国によっては、これは付与される権利であり正当に努力した探索の要求を満たさないかもしれない。

最低基準 すべての博物館とその職員がそこに達したいと思うことを期待することがもつともである基準。

自然遺産 学術的意義を持つまたは精神的な表明を示す、すべての自然物、現象、もしくは概念

博物館 注1 博物館とは社会とその発展に奉仕する一般に公開された非営利の恒久的な施設で、人々とその環境の有形および無形の証拠を研究、教育および娯楽のために収集、研究、伝達および展示をおこなうものである。

博物館専門職員 注1 博物館専門職員は、博物館の運営と活動に関連する分野で専門的な訓練を受けるかもしくは同等の実験的な経験を持つ、博物館およびイコム規約の第二条第1, 2項に規定された施設の職員(有給、無給を問わず)と、施設に属さない、イコム職業倫理規程を尊重し博物館および上に引用した規約に規定された施設のために働く人々で構成するが、博物館や博物館のサービスに必要な商業生産品および設備を促進もしくは販売する人々を含まない。

非営利団体 (剰余金もしくは利益を含む) 収入がその団体および団体の運営の利益のためにのみ利用される、適法に設立された法人組織もしくは非法人組織の団体。「非営利目的」という用語は、これと同一の意味を有する。

資料の由来 資料の発見もしくは作成時から現在までの全経緯および所有権の経緯。これに基づきその資料の真正および所有権が決定される。

有効な所有権 資料の発見もしくは作成からの完全な由来によって裏づけされた、議論の余地のない物品を所有する権利。

注1 「博物館」と「博物館専門職員」の用語は、この「倫理規程」を解釈するための暫定的な定義であることに注意する必要がある。「イコム規定」に用いられている「博物館」及び「専門的博物館従業者」は、同規程の改定が完全になされるまでなお有効である。

1. 博物館は人類の自然・文化遺産のさまざまな側面を保存し、解釈し、促進する
基本原則:博物館は有形、無形の自然および文化遺産に対する責任がある。管理機関および博物館の戦略的な指示と監督に係る者はこの遺産を保護し、助長する主たる責務を負う。それと同時に、人的、物的、金銭的資源を活用できるようにする責務を負う。

施設の地位

1. 1 権能を付与する文書

管理機関は、博物館がその法的地位、使命、永続性、非営利的性格を明確に述べた、国の法に従った、文書化され公表された規則、規約あるいはその他の公文書を持つことを保証しなければならない。

1. 2 使命、目標、方針の声明

管理機関は、博物館の使命、目標および方針ならびに当該管理機関の役割および構成を明確に記した声明を作成し、公表し、従うべきである。

物的資源

1. 3 土地建物

管理機関は、博物館がその使命に規定された基本的な機能を果たすためにふさわしい環境を備えた十分な土地建物を保証するべきである。

1. 4 アクセス

管理機関は、博物館とその収蔵品が適切な時間帯に一定の期間すべての人に公開されることを保証すべきである。特殊なニーズを持った人々には特別の配慮がされなければならない。

1. 5 健康と安全

管理機関は、施設の健康、安全および利用可能性に関する基準が職員と来館者に適用されるよう保証するべきである。

1. 6 災害に対する保護

管理機関は、公衆および職員、収蔵品とその他の資源を自然および人為的な災害から保護するための方針を立て、それを維持するべきである。

1. 7 警備の条件

管理機関は、収蔵品を展示、展覧会、作業または収蔵区域および輸送時における盗難または破損から守るために適切な警備を保証するべきである。

1. 8 保険および補償

商業的な保険が収蔵品に利用される場合、管理機関は、その適用範囲が十分で、輸送中または貸与の物および現在博物館が責任を負うべき他のものを含むことを保証するべきである。補償制度が使用される場合、博物館の所有でない資料が十分に包含されている必要がある。

財源

1. 9 資金の確保

管理機関は、博物館の活動を実施し、発展させるために十分な資金を確保すべきである。
すべての財源は専門的に説明できるようにすべきである。

1. 10 収益の方針

管理機関は、その活動により生じる、もしくは外部の財源から受け取る収入の出所に関して書かれた方針を持つべきである。資金の出所別にかかわらず、博物館は行事、展覧会および諸活動の内容と廉直性を維持するべきである。収益活動は施設およびその公衆の水準を危うくするものであってはならない。(6.6 を参照)

職員

1. 11 雇用の方針

管理機関は、人事に関するすべての措置が博物館の方針および適性かつ適法な手続きにしたがってとられるように保証するべきである。

1. 12 館長もしくは首長の任命

博物館の館長もしくは首長は重要な職であり、任命に際して管理機関は、その職責を効果的に果たすために必要な知識および技能に配慮すべきである。これらの資格には、倫理行動の高い基準に加えて十分な知的能力と専門的な知識が含まれるべきである。

1. 13 管理機関へのアクセス

博物館の館長もしくは首長は、関連管理機関に直接の責任を負い、直接アクセスができなくてはならない。

1. 14 博物館職員の有資格性

すべての責任を果たすのに必要な専門知識を有する、資格を持った職員を雇用することが必要である。(2. 18, 2. 24, 8. 12も参照のこと)

1. 15 職員の訓練

有効な労働力を維持するためにすべての博物館職員の継続的教育と専門的発達の十分な機会が用意されるべきである。

1. 16 倫理的矛盾

管理機関は、本「職業倫理規定」または国の法律もしくは専門職に関する倫理規定の諸条項と矛盾すると考えられる行為を一切、博物館職員に要求してはならない。

1. 17 博物館職員とボランティア

管理機関は、博物館の専門職員とボランティアの間に前向きな関係を促進するような、ボランティアの活動に関する書かれた方針を持つべきである。

1. 18 ボランティアと倫理

管理機関は、ボランティアが博物館および個人的な活動を行うとき、イコムの職業倫理規程および他の適用されうる規定や法に精通していることを保証すべきである。

2. コレクションを負託を受けて有する博物館は、社会の利益と発展のためにそれらを保管するものである。

基本原則：博物館は、自然、文化、学術遺産の保護への貢献として、その収蔵品の収集、保存、向上をおこなう義務がある。彼らの収蔵品は有意義な公的遺産であり、法において特別な地位を占め、国際的な規約によって保護されている。この公的負託には、正当な所有権、永続性、文書化、アクセシビリティおよび信頼できる処分を含む管理の観念が内包されている。

収蔵品の収集

2. 1 収蔵品に関する方針

各博物館の管理機関は、収蔵品の取得、保持、利用に関する文書化された収蔵品の方針を採択し、公表すべきである。方針は、カタログ化、保存、展示されない資料の位置を明確にすべきである。(2. 7と2. 8を参照のこと)

2. 2 有効な所有権

取得しようとする博物館が有効な権利を保有できることを納得しない限り、品物あるいは資料を購入、寄贈、貸与、遺贈または交換によって取得すべきでない。ある国における法にかなった所有権が、必ずしも有効な権利とはかぎらない。

2. 3 資料の由来と正当な注意義務

購入、寄贈、貸与、遺贈、もしくは交換の申し入れがあった資料もしくは標本は、すべて取得の前に、その原産国もしくは適法に所有されていた中継国(博物館の自国も含む)から違法に取得もしくは輸入されたものでないことを確認するためにあらゆる努力を払うべ

きである。これに関して、正当な注意義務を払ってその物件の発見もしくは制作以来の由来を明らかにするべきである。

2. 4 無認可のもしくは非学術的なフィールドワークに由来する資料と標本

博物館は、それが取得された際に記念物、考古学的あるいは地学的要地もしくは種および自然生息地に対する無認可の、または非学術的な、もしくは意図的な破壊または損傷が伴っていたと確信するに足る合理的な要因がある場合は、かかる資料を取得してはならない。同様に、発見されたものが土地の所有者もしくは占有者、または、適当な法的もしくは行政上の責任機関に通知されていない場合、その取得は行われてはならない。

2. 5 文化的に慎重さを要する資料

遺骸および神聖な意義を持つ資料は、安全に所蔵されかつ敬意のこもった保管が可能な場合のみ取得されるべきである。これは専門職業上の基準に則り、かつ知られている場合にはそれらのものの由来する地域社会あるいは、民族のもしくは宗教的団体の構成員の利益と信仰に矛盾しない方法で達成されなければならない(3. 7および4. 3も参照のこと)。

2. 6 保護された生物学的もしくは地学的資料

博物館は、地方、国、地域の、もしくは国際的な野生生物保護または自然史保存に関する法あるいは条約に違反して、収集、販売、もしくはそのほかの方法で移転された生物学的もしくは地学的資料を取得するべきではない。

2. 7 生きている収蔵品

収蔵品が生きている植物または動物標本を含むときはそれらが由来する自然のおよび社会的環境、および地方、国、地域の、もしくは国際的な野生生物保護または自然史保存に関する法あるいは条約に特別の配慮をするべきである。

2. 8 作業用収蔵品

収蔵品に関する方針は、品物自体よりも文化的、学術的もしくは技術的な過程の保存のほうに力点が置かれているような、あるいは品物や標本が通常の取り扱いおよび教育の目的で集められるような、あるタイプの作業用収蔵品について特別な配慮を含むことができる。

2. 9 収蔵品に関する方針の枠外の取得

博物館の収蔵品に関する公にされた方針の枠外で、資料もしくは標本を取得することは、例外的な状況においてのみなされるべきである。管理機関は、知ることができる専門的な意見および関心をもつすべての関係者の見解を考慮すべきである。考慮には、その文化もしくは自然遺産に関する状況およびそのような資料を収集している他の博物館の特別の関

心が含まれる。そのような場合にも、正当な権利を伴わない資料もしくは標本を取得すべきではない。

2. 10 管理機関の構成員もしくは博物館職員による取得

販売であれ、寄贈であれ、または税金免除を伴う寄贈としてであれ、管理機関の構成員もしくは博物館職員あるいはその家族およびこれらの人々と親しい人々からの資料の取得の際には、特別の注意が要求される。

2. 11 最後の手段の保管所

この倫理規程のどの部分も、博物館が適法な責任を有する領域からの、由来不明の、不法に収集もしくは取得された標本もしくは資料のための承認された保管場所となることを妨げるべきではない。

収蔵品の除去

2. 12 処分に関する法的もしくはその他の権限

博物館に処分を許可する法的権限がある場合、もしくは博物館が処分を条件に資料を取得した場合にも、法的もしくはその他の要件および手順は完全に遵守しなければならない。最初の取得が義務的もしくはその他の制限を伴ったものである場合、そのような制限の遵守が不可能または博物館にとって大きな損害であること、そして、もし適切と認められる場合には、法的救済措置がとられていることを明確に示すことができない限り、これらの条件は遵守しなければならない。

2. 13 博物館の収蔵品からの除去

博物館の収蔵品から資料もしくは標本を除去することは、その資料の意義、性格(更新できる場合もできない場合も)、法的な位置、およびそのような行為から生じ得る公衆の信頼の損失を十分理解した上でのみ行われるべきである。

2. 14 放出に対する責任

放出の決定は、博物館の館長および当該収蔵品の担当学芸員と共同で行動する管理機関の責任である。作業用収蔵品には特別の措置が適用されうる(2.7 および 2.8 参照)。

2. 15 収蔵品から除去された資料の処分

各博物館は、寄贈、移管、交換、売却、返還、もしくは破壊による資料の収蔵品からの永久的な除去をおこなうための公認された方法を規定し、また受け取る施設への制限されない権利の譲渡を容認する方針を持たねばならない。すべての除去の決定、当該資料および

その処分について完全な記録を保存しなければならない。放出品は優先的に他の博物館に提供するべきであるとの強い仮定がある。

2. 16 収蔵品の処分からの収入

博物館の収蔵品は公衆からの預託物であり、換金できる財産として扱うべきではない。博物館の収蔵品からの資料および標本の放出と処分から受けた金銭もしくは報酬は、収蔵品のためのみ、および通常はその収蔵品への収集のためのみに用いなければならない。

2. 17 放出された収蔵品の購入

博物館職員、管理機関、または、その家族もしくは親しい人々に対しては、彼らに責任がある収蔵品から放出された資料の購入を許可するべきでない。

収蔵品の保護

2. 18 収蔵品の永続性

博物館は、その収蔵品(永久的なものも一時的なものも)および適切に記録された関連の情報が、現在において使用でき、また現在の知識および資源に配慮しながら、できる限り良好かつ安全な状態で将来の世代に伝えることを保証する方針を決め、適用しなくてはならない。

2. 19 収蔵品の責任の委任

収蔵品の保護に関する専門的な責任は、適切な知識と技術を持った人々もしくは十分な監督下にある人々に任されるべきである(8.11 も参照のこと)。

2. 20 収蔵品の文書化

博物館の収蔵品は、容認された専門的な基準にしたがって文書化されなければならない。この文書化は、一点ごとの完全な同一性確認と特徴の説明、関係、由来、状態、処理と現在ある場所を含まなければならない。そのようなデータは、安全な環境で保管され、博物館の職員やその他の正当な利用者が情報を得るためのデータの取り出しシステムが備わっていないとてはならない。

2. 21 災害からの保護

武力抗争およびその他の人為的また自然災害時における収蔵品の保護の方針の作成について、細やかな注意が払わなければならない。

2. 22 収蔵品と関連のデータの安全

収蔵品のデータが一般に公開されるとき、博物館は、慎重さを必要とする個人的なまたは関連の情報および秘密事項を開示することを避けるための制御を行わねばならない。

2. 23 環境保存計画

環境保存計画は、博物館の方針と収蔵品の保護の重要な要素である。収蔵庫にあるとき、展示中、もしくは輸送中であるときも、収蔵品の保護的環境を作り出し、これを維持することは博物館の専門職員の重要な責任である。

2. 24 収蔵品の保存と修復

博物館は、資料もしくは標本が保存・修復の処置と資格のある保存技術者・修復者の仕事を必要とする時を決定するために、収蔵品の状態を注意深く監視しなければならない。主な目的は、資料または標本の状態の安定化であるべきである。保存の手順は、すべて文書化され、またできるだけ可逆的であるべきであり、すべての変更箇所は、資料および標本の原品の部分と明確に識別可能にするべきである。

2. 25 生きた動物の厚生

生きた動物を飼育している博物館は、それらの健康と福祉に関するすべての責任を負うべきである。博物館は、獣医学の専門家によって承認された、職員、来館者、および動物の保護のための安全規程を作り履行しなければならない。遺伝子的改変は明確に識別できるようにすべきである。

2. 26 博物館の収蔵品の個人的使用

博物館の職員、管理機関、彼らの家族、近しい人々等に、博物館の収蔵品を一時的であっても個人的な目的での収用を許可してはならない。

3. 博物館は知識を確立し深めるための主要な証拠を持つ

基本原則：博物館は、収集し所蔵している主要な証拠の保管、利用可能性、解釈に関して、すべての人に対して特別な責任がある。

主要な証拠

3. 1 主要な証拠としての収蔵品

博物館の収蔵品の方針は、主要な証拠としての収蔵品の意義を明確に示さねばならない。方針は、これが現在の知的な流行もしくは博物館の使用に支配されていないことを証明すべきである。

3. 2 収蔵品の利用可能性

博物館は、秘密と安全の理由から生じる制限に配慮しつつ、収蔵品および関連するすべての情報ができる限り自由に利用できるようにする特別な責任がある。

博物館の収集と研究

3. 3 現地の収集

現地の収集をおこなっている博物館は、学問的な規程、適用のある国法および国際法ならびに条約上の義務に一致する方針を作るべきである。フィールドワークは、地域社会の意見、彼らの環境資源および文化実践ならびに文化・自然遺産を高める努力に対する敬意と配慮をもつてのみおこなわなければならない。

3. 4 主要な証拠の例外的な収集

非常に例外的なケースでは、由来の不明の資料が、本質的に知識の増進に著しく貢献するものであり、その資料を保存することが公的利益に叶うことがある。そのような資料の博物館の収蔵品への受け入れは、関連の学問分野の専門家の決定に従うべきであり、その国に対するもしくは国際的な偏見があってはならない。

3. 5 研究

博物館職員による研究は、博物館の使命と目標に関連し、確立した法的、倫理的、学問的な慣行に合致するものでなければならない。

3. 6 破壊的分析

破壊的分析の手法が行われるときは、分析された資料、分析の結果、出版物を含むそこから生じた研究の完全な記録がその資料の永久的な記録の一部となるべきである。

3. 7 遺骸および神聖な意味のある資料

遺骸および神聖な意味のある資料についての研究は、専門的な基準に従った方法で、知られている場合はそれらの資料が由来する地域社会、民族もしくは宗教団体の利益と信仰を考慮に入れつつ行われなければならない(2.5, 4.3 も参照のこと)。

3. 8 研究資料に対する権利の保有

博物館職員が発表のための資料、現地調査の記録のための資料を作成するとき、その資料に対するあらゆる権利に関して、それを支援する博物館の間で明確な取り決めがなくてはならない。

3. 9 共有される専門知識

博物館専門職員には、その知識および経験を同僚のほか、関連分野の学者、学生と共有する義務がある。博物館専門職員は、自分が教えを受けた人々を尊敬し認めるべきであり、他の人々に役立つ可能性のある技術および経験における進歩を提供するべきである。

3. 10 博物館および他の施設間での協力

博物館職員は、類似の関心を持ち、収集活動を行う施設間の協力および協議の必要性を認め、これを支持すべきである。このことは、研究を通じて重要な収蔵品が生み出されてもそれらの長期の安全が確保できない、高等教育機関およびある種の公共施設について特に言えることである。

4. 博物館は自然および文化遺産を鑑賞し、理解し、それを促進する機会を提供する。

基本原則：博物館には、その教育的役割を開発し、博物館が対象とする地域社会、地方もしくは団体から幅広い来館者をひきつけるという重要な義務がある。

陳列と展覧会

4. 1 陳列、展覧会および特別な活動

陳列や展覧会は、それが物質的なものであれ電子的なものであれ、博物館の明確な使命、方針および目的にしたがって行われるべきである。博物館は、収蔵品の質や適切な保管と保存について妥協するべきでない。

4. 2 展示物の解釈

博物館は、陳列や展覧会において提示する情報には十分な根拠があり、正確であり、それが象徴する団体や信仰に対して適切な配慮がなされていることを保証すべきである。

4. 3 慎重さを要する資料の展示

遺骸および神聖な意味のある資料は、専門的な基準に従った方法で、知られている場合はそれらの資料が由来する地域社会、民族もしくは宗教団体の利益と信仰を考慮に入れつつ陳列されなければならない。それらは、すべての人々が持つ人間の尊厳の気持ちに対する深い察知と尊敬をこめて展示されなければならない。

4. 4 公開陳列からの撤去

遺骸および神聖な意味のある資料を公開陳列から撤去するよう、それらの資料が由来する地域社会から要求されたときは、尊敬と感性を持って迅速に応じなければならない。その

ような資料の返還の要求にもまた同様に応じなければならない。博物館の方針は、そのような要求に応えるための手続きを明確に示さなければならない。

4. 5 由来不明の資料の陳列

博物館は、出所の疑わしい、もしくは由来の不明な資料を陳列もしくは他の方法で使用することを避けるべきである。博物館はそのような陳列や使用が文化財の違法取引の容認および助長的行為とみなされる可能性があることを承知しておくべきである。

他の資源

4. 6 公表

博物館によって公表された情報は、それがいかなる方法をとったものでも、十分な根拠があり、正確で、学問上の規律、社会もしくは表された信仰に対して責任のある配慮がなされているべきである。博物館の情報の公表は、博物館の水準を損なうものであってはならない。

4. 7 複製

博物館は、収蔵品の模造、複製、複写を作成するとき原品の完全な形を尊重するべきである。それらの複製品は永久的に模造品であることを明示するべきである。

5. 博物館の資源は、他の公的サービスや利益のための機会を提供する。

基本原則：博物館は、博物館内よりはるかに広い場での適用力を持つ多様な専門性、技能および物質的資源を使用する。このことは、博物館活動の延長として、共有される資源もしくはサービスの供給につながりうる。それらは、博物館の明確な使命を損なうことのない方法で計画されるべきである。

鑑定サービス

5. 1 違法もしくは不法に取得された資料の鑑定

博物館が鑑定のサービスをおこなうとき、そのような活動から直接的であれ間接的であれ利益を得ているとみなされるような行動をとるべきではない。違法もしくは不法に取得、譲渡、輸入もしくは輸出されたと信じられる、または疑われる資料の鑑定や真正の認定は、適切な機関に通知される以前に公表するべきではない。

5. 2 真正の認定と評価(価値の判定)

博物館の収蔵品に保険をかける目的で評価する場合がある。それ以外の資料の金銭的な価

値に関する意見は、他の博物館もしくは権限を持つ法的、行政的もしくは責任のある公的機関からの正式な要請によってのみ述べられるべきである。しかし、博物館が受益者である場合、資料もしくは標本の評価は第三者的姿勢で行わなければならない。

6. 所蔵品が由来する、もしくは博物館が奉仕する地域社会との密接な協力のもとに行う博物館の業務

基本原則：博物館の収蔵品は、それらが由来する地域社会の文化的および自然の遺産を反映する。そういうものであるから、それらは、国の、地域の、地方の、民族的、宗教的もしくは政治的独自性との強い類縁性を含みうる、通常の属性を超えた性格を有する。したがって、博物館の方針はこの可能性に応えられなければならない。

収蔵品の原産地

6. 1 協力

博物館は、原産地である国もしくは地域社会の博物館および文化機関と知識、文書および収蔵品の共有を促進するべきである。遺産の重要な部分を失った国もしくは地域の博物館とのパートナーシップを築く可能性が探られるべきである。

6. 2 文化財の返還

博物館は、文化財をその原産国またはその国民に返還するための話し合いを開始する態勢を整えているべきである。このことは、科学的、専門的また人道的な原則と、適用される地方・国の法、および国際法に基づき、政府もしくは政治レベルの行動に優先して、公平に行われるべきである。

6. 3 文化財の復帰

原産国もしくはその国民が、国際および国の協定の原則に違反して輸出あるいは譲渡され、かつ、それが当該国または国民の文化または自然遺産の一部であることを示すことができるような資料または標本の復帰を求めるときは、関係博物館は、法的にそうすることが自由にできるならば、その返還に協力するため速やかかつ責任ある手段を講じるべきである。

6. 4 占領された国からの文化財

博物館は、占領された地域からの文化財を購入もしくは取得することを差し控えるべきであり、文化および自然資料の輸入、輸出および譲渡を規定するあらゆる法律と協定を完全に守るべきである。

奉仕される地域社会への敬意

6. 5 現代の地域社会

博物館の活動が現代の地域社会もしくはその遺産とかかわっている場合、資料の取得は、所有者や通知者につけこむことなしに、情報を与えた上での相互の了承に基づいてのみ行われるべきである。関与する地域社会の希望の尊重が最重要視されるべきである。

6. 6 地域社会の施設の財源

現代の地域にかかわる活動のための資金を求めるとき、彼らの利益をないがしろにしてはならない(1. 10を参照のこと)。

6, 7 現代の地域社会からの収蔵品の使用

博物館が現代の地域社会からの収蔵品を使用する場合、それらを使用する人々の尊厳、伝統および文化を尊重する必要がある。そのような収蔵品は、多様な社会、多文化および多言語の表現を擁護することによって人々の福祉、社会の発展、寛容および尊敬を促進するために使用されるべきである(4.3 を参照のこと)。

6. 8 地域社会の中の支援団体

博物館は、地域社会の支援のための好ましい環境(博物館友の会などの支援団体)を作り、その貢献を認め、地域社会と博物館職員との間の友好的な関係を促進するべきである。

7. 博物館は法律に従って事業を行う

基本原則：博物館は、国際的、地域的、国の、もしくは地方の法律と条約の義務に完全にしがうべきである。さらに、管理機関は、博物館のあらゆる側面、その収蔵品および事業に関連する法的な拘束力のある負託や条件をみたすべきである。

法的枠組み

7. 1 国及び地方の法規

博物館の事業に影響をあたえるので、博物館はすべての国と地方の法律にしたがい、他の国の法規を尊重すべきである。

7. 2 国際法

博物館の方針は、イコム職業倫理規程の解釈において基準とされる、以下の国際法を認めるべきである。

- 武力衝突時の文化財保護のためのユネスコ条約(ハーグ条約, 1954 年第一議定書および 1999 年第二議定書)
- 文化財の不法な輸入, 輸出および所有権の譲渡を禁止し防止する手段に関するユネスコ条約(1970 年)
- 危機に瀕している野生動植物の種の国際取引に関する条約(1973年)
- 生物学的多様性に関する国連条約(1992 年)
- 窃盗および不法輸出された文化的資源に関するユニドロフ条約(1995 年)
- 水中文化遺産の保護に関するユネスコ条約(2001 年)
- 無形文化遺産の保護に関するユネスコ条約(2003 年)

8. 博物館は専門的に事業を行う

基本原則: 博物館の専門職員は, 受け入れられた基準と法を守り, 彼らの職業の尊厳と名誉を維持するべきである。彼らは違法もしくは反倫理的な専門的行為から公衆を守るべきである。博物館の社会への貢献についての公衆のよりよい理解を促し, この職業の目標, 目的および抱負について, 公衆に知らせ, 教育するため, あらゆる機会を利用すべきである。

専門職的行動

8. 1 関連法規の熟知

博物館の専門職員はすべて, 関連する国際, 国内および地方の法ならびに彼らの雇用条件に通暁しているべきである。彼らは不適切な行為とみなされるような状況を回避するべきである。

8. 2 職業上の責任

博物館の専門職員は, 勤務している博物館の方針と手続きに従う義務を負う。しかし, 博物館もしくはその専門職および職業倫理に損害を与えと思われる慣行にたいして正当な反対を唱えることができる。

8. 3 専門職的行動

同僚および勤務先博物館への忠誠は, 重要な職業上の責任であり, 専門職業全体に適用される基本的な倫理原則への忠誠に基づくものでなければならない。彼らはイコムの職業倫理規程の条件を守るべきであり, その他の博物館業務に関連する規定もしくは方針を認識しているべきである。

8. 4 学問的および学術的責任

博物館専門職員は、収蔵品に固有の情報の調査、保存、使用を促進すべきである。したがって、彼らはそのような学問的および科学的データの損失につながるような行動や状況を避けるべきである。

8. 5 不法な市場

博物館専門職員は、自然および文化財の不法な移動もしくは市場に直接であれ間接であれ力を貸すべきでない。

8. 6 秘密保持

博物館専門職員は、勤務中に入手した秘密情報を保護しなければならない。加えて、鑑定のために博物館に持ち込まれた品目に関する情報は、機密情報であり、所有者から特に許可がない限り公表したり、他のどのような機関もしくは個人にも流してはならない。

8. 7 博物館と収蔵品の警備

博物館の警備、もしくは勤務中に訪問した個人コレクションの警備と所在地に関する情報は、博物館職員によって嚴重な秘密とされなければならない。

8. 8 秘密保持の義務の例外

秘密の保持は、盗まれた、不法に取得された、もしくは違法に譲渡された可能性がある物品にかんする警察または他の正当な機関による捜査に協力する法的な義務に従属する。

8. 9 個人の独自性

専門職にあるものは、ある程度個人の独自性を保持する権利を有するが、彼らは、いかなる私的な仕事または専門的利益も彼らが勤務する機関と完全に切り離すことはできないことを心得ておかなければならない。

8. 10 専門職業上の関係

博物館の専門職員は、彼らが勤務する博物館の内外で多数の人々と業務上の関係を持つ。彼らは、他の人々に対して効率の良い高い水準の専門的サービスを提供することを期待されている。

8. 11 専門的相談

入手できる専門知識が、博物館内での良い決定を保証するには不十分であるときは、博物館内外の専門家に相談するのは職業上の責務である。

利害の衝突

8. 12 贈答, 援助, 貸与もしくはその他の個人的な便宜

博物館職員は, 所属博物館の職務に関連して提供された可能性のある贈り物, 援助, 貸与もしくはその他の個人的便宜を受けてはならない。場合によっては, 職業上の慣例に贈り物の授受が含まれていることがあるが, それは必ず関係機関の名において行うべきである。

8. 13 外部の雇用もしくは仕事の利益

専門職にあるものは, ある程度個人の独自性を保持する権利を有するが, 彼らは, いかなる私的な仕事または専門的利益も彼らが勤務する施設と完全に切り離すことはできないことを心得ておかなければならない。彼らは博物館の利益と衝突する, もしくは衝突するとみなされる他の有給の雇用もしくは外部の委嘱を受けるべきではない。

8. 14 自然・文化遺産の取引

博物館の専門職員は, 直接, 間接を問わず, 自然もしくは文化遺産の取引(利益のための売買)に加わるべきではない。

8. 15 取引人との相互作用

博物館専門職員は, 博物館の資料の購入もしくは処分, あるいは公的行為の実施または回避の誘引として, 取引業者, 競売人もしくはその他の人物から贈り物, 歓待もしくはいかなる形の報酬も受けてはならない。さらに, 博物館専門職員は, 特定の取引業者, 競売人もしくは鑑定人を一般人に推薦すべきではない。

8. 16 個人的収集活動

博物館専門職員は, 資料の取得もしくは個人的収集活動のいずれにおいても所属機関と競合すべきではない。博物館専門職員と管理機関との間で個人的な収集に関する協約書を作成し, 良心的にこれに従わなければならない。

8. 17 ICOM の名称とロゴの使用

イコム会員は, いかなる営利目的の活動もしくは製品の促進や信用性の付与のために”International Council of Museums”および”ICOM”という言葉, もしくはそのロゴを使用してはならない。

8. 18 その他の利害衝突

個人と博物館の間にその他の利害の衝突が生じた場合は, 博物館の利益が優先する。

Code of ethics

ICOM code of ethics for museums

The ICOM Code of Professional Ethics was adopted unanimously by the 15th General Assembly of ICOM in Buenos Aires (Argentina) on 4 November 1986. It was amended by the 20th General Assembly in Barcelona (Spain) on 6 July 2001, retitled ICOM Code of Ethics for Museums, and revised by the 21st General Assembly in Seoul (Republic of Korea) on 8 October 2004.

© ICOM, 2006

ISBN 92-9012-159-9

ICOM code of ethics
for museums

The cornerstone of ICOM is the ICOM Code of Ethics for
Museums. It sets minimum standards of professional practice
and performance for museums and their staff. In joining the
organisation, ICOM members undertake to abide by this Code.

International Council of Museums

Maison de l'UNESCO

1, rue Miollis 75732 Paris cedex 15 - France

Telephone: +33 (0) 1 47 34 05 00

Fax: +33 (0) 1 43 06 78 62

Email: secretariat@icom.museum

Website: <http://www.icom.museum>

Preamble

STATUS OF THE ICOM CODE OF ETHICS FOR MUSEUMS

The ICOM Code of Ethics for Museums has been prepared by the International Council of Museums. It is the statement of ethics for museums referred to in the ICOM Statutes. The Code reflects principles generally accepted by the international museum community. Membership in ICOM and the payment of the annual subscription to ICOM are an affirmation of the ICOM Code of Ethics for Museums.

A MINIMUM STANDARD FOR MUSEUMS

The ICOM Code represents a minimum standard for museums. It is presented as a series of principles supported by guidelines for desirable professional practice. In some countries, certain minimum standards are defined by law or government regulation. In others, guidance on and assessment of minimum professional standards may be available in the form of 'Accreditation', 'Registration', or similar evaluative schemes. Where such standards are not defined, guidance can be obtained through the ICOM Secretariat, a relevant National Committee of ICOM, or the appropriate International Committee of ICOM. It is also intended that individual nations and the specialised subject organisations connected with museums should use this Code as a basis for developing additional standards.

TRANSLATIONS OF THE ICOM CODE OF ETHICS FOR MUSEUMS

The ICOM Code of Ethics for Museums is published in the three official languages of the organisation: English, French and Spanish. ICOM welcomes the translation of the Code into other languages. However, a translation will be regarded as "official" only if it is endorsed by at least one National Committee of a country in which the language is spoken, normally as the first language. Where the language is spoken in more than one country, it is preferable that the National Committees of these countries also be consulted. Attention is drawn to the need for linguistic as well as professional museum expertise in providing official translations. The language version used for a translation and the names of the National Committees involved should be indicated. These conditions do not restrict translations of the Code, or parts of it, for use in educational work or for study purposes.

Table of contents

Page vi	Introduction by Geoffrey Lewis ICOM Code of Ethics for Museums
Page 1	1. Museums preserve, interpret and promote the natural and cultural inheritance of humanity. · Institutional standing · Physical resources · Financial resources · Personnel
Page 3	2. Museums that maintain collections hold them in trust for the benefit of society and its development. · Acquiring collections · Removing collections · Care of collections
Page 6	3. Museums hold primary evidence for establishing and furthering knowledge. · Primary evidence · Museum collecting & research
Page 8	4. Museums provide opportunities for the appreciation, understanding and management of the natural and cultural heritage. · Display and exhibition · Other resources
Page 9	5. Museums hold resources that provide opportunities for other public services and benefits. · Identification services
Page 9	6. Museums work in close collaboration with the communities from which their collections originate as well as those they serve. · Origin of collections · Respect for communities served
Page 10	7. Museums operate in a legal manner. · Legal framework
Page 11	8. Museums operate in a professional manner. · Professional conduct · Conflicts of interest
Page 14	Glossary

Introduction

This edition of the ICOM Code of Ethics for Museums is the culmination of six years' revision. Following a thorough review of ICOM's Code in the light of contemporary museum practice, a revised version, structured on the earlier edition, was issued in 2001. As envisaged at that time, this has now been completely reformatted to give it the look and feel of the museum profession based on the key principles of professional practice, elaborated to provide general ethical guidance. The Code has been the subject of three periods of consultation with the membership. It was approved with acclamation at the 21st General Assembly of ICOM in Seoul in 2004.

The whole ethos of the document continues to be that of service to society, the community, the public and its various constituencies, as well as the professionalism of museum practitioners. While there is a changed emphasis throughout the document resulting from the new structure, the accentuation of key points and the use of shorter paragraphs, very little is totally new. The new features will be found in paragraph 2.11 and in the principles outlined in sections 3, 5 and 6.

The ICOM Code of Ethics for Museums provides a means of professional self-regulation in a key area of public provision where legislation at a national level is variable and far from consistent. It sets minimum standards of conduct and performance to which museum professional staff throughout the world may reasonably aspire as well as providing a statement of reasonable public expectation from the museum profession. ICOM issued its Ethics of Acquisition in 1970 and the full Code of Professional Ethics in 1986. The present edition – and its interim document of 2001 – owe much to that early work. The major work of revision and restructuring, however, fell on the members of the Ethics Committee. Their contribution in meetings – both actual and electronic – including their determination to meet both target and schedule is gratefully acknowledged. Their names are listed for reference.

Having completed our mandate, we pass responsibility for the Code to a largely new committee membership, headed by Bernice Murphy, who brings to the work all the knowledge and experience of a past Vice-President of ICOM and a previous member of the Ethics Committee.

Like its precursors, the present Code provides a global minimum standard on which national and specialist groups can build to meet their particular requirements. ICOM encourages the development of national and specialist codes of ethics to meet particular needs and will be pleased to receive copies of these. They should be sent to the Secretary-General of ICOM, Maison de l'UNESCO, 1, rue Miollis, 75732 Paris cedex 15, France. E-mail: secretariat@icom.museum

Geoffrey Lewis

Chair, ICOM Ethics Committee (1997-2004)

President of ICOM (1983-1989)

ICOM Ethics Committee during the period 2001-2004

Chair: Geoffrey Lewis (UK)

Members:

Gary Edson (USA)

Per Kåks (Sweden)

Byung-mo Kim (Republic of Korea)

Pascal Makambila (Congo)

Jean-Yves Marin (France)

Bernice Murphy (Australia)

Tereza Scheiner (Brazil)

Shaje'a Tshiluila (Democratic Republic of Congo)

Michel Van-Praët (France)

Ethical issues that require the attention and/or consideration of the ICOM

Ethics Committee may be addressed to its Chair by e-mail: ethics@icom.museum.

ICOM code of ethics

for museums

1. Museums preserve, interpret and promote the natural and cultural inheritance of humanity.
2. Museums that maintain collections hold them in trust for the benefit of society and its development.
3. Museums hold primary evidence for establishing and furthering knowledge.
4. Museums provide opportunities for the appreciation, understanding and management of the natural and cultural heritage.
5. Museums hold resources that provide opportunities for other public services and benefits.
6. Museums work in close collaboration with the communities from which their collections originate as well as those they serve.
7. Museums operate in a legal manner.
8. Museums operate in a professional manner.

1

Museums preserve, interpret and promote the natural and cultural inheritance of humanity.

Principle

Museums are responsible for the tangible and intangible natural and cultural heritage. Governing bodies and those concerned with the strategic direction and oversight of museums have a primary responsibility to protect and promote this heritage as well as the human, physical and financial resources made available for that purpose.

INSTITUTIONAL STANDING

1.1 u Enabling Documentation

The governing body should ensure that the museum has a written and published constitution, statute, or other public document in accordance with national laws, which clearly states the museum's legal status, mission, permanence and nonprofit nature.

1.2 u Statement of the Mission, Objectives and Policies

The governing body should prepare, publicise and be guided by a statement of the mission, objectives and policies of the museum and of the role and composition of the governing body.

PHYSICAL RESOURCES

1.3 u Premises

The governing body should ensure adequate premises with a suitable environment for the museum to fulfil the basic functions defined in its mission.

1.4 u Access

The governing body should ensure that the museum and its collections are available to all during reasonable hours and for regular periods. Particular regard should be given to those persons with special needs.

1.5 u Health and Safety

The governing body should ensure that institutional standards of health, safety and accessibility apply to its personnel and visitors.

1.6 u Protection Against Disasters

The governing body should develop and maintain policies to protect the public and personnel, the collections and other resources against natural and humanmade disasters.

1.7 u Security Requirements

The governing body should ensure appropriate security to protect collections against theft or damage in displays, exhibitions, working or storage areas and while in transit.

1.8 u Insurance and Indemnity

Where commercial insurance is used for collections, the governing body should ensure that such cover is adequate and includes objects in transit or on loan and other items that are the responsibility of the museum. When an indemnity scheme is in use, it is necessary that material not in the ownership of the museum be adequately covered.

FINANCIAL RESOURCES

1.9 u Funding

The governing body should ensure that there are sufficient funds to carry out and develop the activities of the museum. All funds must be accounted for in a professional manner.

1.10 u Income-generating Policy

The governing body should have a written policy regarding sources of income that it may generate through its activities or accept from outside sources. Regardless of funding source, museums should maintain control of the content and integrity of their programmes, exhibitions and activities. Income-generating activities should not compromise the standards of the institution or its public. (See 6.6).

PERSONNEL

1.11 u Employment Policy

The governing body should ensure that all action concerning personnel is taken in accordance with the policies of the museum as well as the proper and legal procedures.

1.12 u Appointment of the Director or Head

The director or head of the museum is a key post and when making an appointment, governing bodies should have regard for the knowledge and skills required to fill the post effectively. These qualities should include adequate intellectual ability and professional knowledge, complemented by a high standard of ethical

conduct.

1.13 u Access to Governing Bodies

The director or head of a museum should be directly responsible, and have direct access, to the relevant governing bodies.

1.14 u Competence of Museum Personnel

The employment of qualified personnel with the expertise required to meet all responsibilities is necessary. (See also 2.19; 2.24; section 8).

1.15 u Training of Personnel

Adequate opportunities for the continuing education and professional development of all museum personnel should be arranged to maintain an effective workforce.

1.16 u Ethical Conflict

The governing body should never require museum personnel to act in a way that could be considered to conflict with the provisions of this Code of Ethics, or any national law or specialist code of ethics.

1.17 u Museum Personnel and Volunteers

The governing body should have a written policy on volunteer work that promotes a positive relationship between volunteers and members of the museum profession.

1.18 u Volunteers and Ethics

The governing body should ensure that volunteers, when conducting museum and personal activities, are fully conversant with the ICOM Code of Ethics for Museums and other applicable codes and laws.

2

Museums that maintain collections hold them in trust for the benefit of society and its development.

Principle

Museums have the duty to acquire, preserve and promote their collections as a contribution to safeguarding the natural, cultural and scientific heritage. Their collections are a significant public inheritance, have a special position in law and are protected by international legislation. Inherent in this public trust is the notion of stewardship that includes rightful ownership, permanence, documentation, accessibility and responsible disposal.

ACQUIRING COLLECTIONS

2.1 u Collections Policy

The governing body for each museum should adopt and publish a written collections policy that addresses the acquisition, care and use of collections. The policy should clarify the position of any material that will not be catalogued, conserved, or exhibited. (See 2.7; 2.8).

2.2 u Valid Title

No object or specimen should be acquired by purchase, gift, loan, bequest, or exchange unless the acquiring museum is satisfied that a valid title is held. Evidence of lawful ownership in a country is not necessarily valid title.

2.3 u Provenance and Due Diligence

Every effort must be made before acquisition to ensure that any object or specimen offered for purchase, gift, loan, bequest, or exchange has not been

illegally obtained in, or exported from its country of origin or any intermediate country in which it might have been owned legally (including the museum's own country). Due diligence in this regard should establish the full history of the item since discovery or production.

2.4 u Objects and Specimens from

Unauthorised or Unscientific

Fieldwork

Museums should not acquire objects where there is reasonable cause to believe their recovery involved unauthorised or unscientific fieldwork, or intentional destruction or damage of monuments, archaeological or geological sites, or of species and natural habitats. In the same way, acquisition should not occur if there has been a failure to disclose the finds to the owner or occupier of the land, or to the proper legal or governmental authorities.

2.5 u Culturally Sensitive Material

Collections of human remains and material of sacred significance should be acquired only if they can be housed securely and cared for respectfully. This must be accomplished in a manner consistent with professional standards and the interests and beliefs of members of the community, ethnic or religious groups from which the objects originated, where these are known. (See also 3.7; 4.3).

2.6 u Protected Biological or Geological Specimens

Museums should not acquire biological or geological specimens that have been collected, sold, or otherwise transferred in contravention of local, national, regional

or international law or treaty relating to wildlife protection or natural history conservation.

2.7 u Living Collections

When the collections include live botanical or zoological specimens, special consideration should be given to the natural and social environment from which they are derived as well as any local, national, regional or international law or treaty relating to wildlife protection or natural history conservation.

2.8 u Working Collections

The collections policy may include special considerations for certain types of working collections where the emphasis is on preserving cultural, scientific, or technical process rather than the object, or where objects or specimens are assembled for regular handling and teaching purposes. (See also 2.1).

2.9 u Acquisition Outside Collections Policy

The acquisition of objects or specimens outside the museum's stated policy should only be made in exceptional circumstances. The governing body should consider the professional opinions available to it and the views of all interested parties. Consideration will include the significance of the object or specimen, including its context in the cultural or natural heritage, and the special interests of other museums collecting such material. However, even in these circumstances, objects without a valid title should not be acquired. (See also 3.4).

2.10 u Acquisitions Offered by Members of the Governing Body or Museum Personnel

Special care is required in considering any item, whether for sale, as a donation, or as a tax-benefit gift, from members of governing bodies, museum personnel, or the families and close associates of these persons.

2.11 u Repositories of Last Resort

Nothing in this Code of Ethics should prevent a museum from acting as an authorised repository for unprovenanced, illicitly collected or recovered specimens or objects from the territory over which it has lawful responsibility.

REMOVING COLLECTIONS

2.12 u Legal or Other Powers of Disposal

Where the museum has legal powers permitting disposals, or has acquired objects subject to conditions of disposal, the legal or other requirements and procedures must be complied with fully.

Where the original acquisition was subject to mandatory or other restrictions these conditions must be observed, unless it can be shown clearly that adherence to such restrictions is impossible or substantially detrimental to the institution and, if appropriate, relief may be sought through legal procedures.

2.13 u Deaccessioning from Museum Collections

The removal of an object or specimen from a museum collection must only be undertaken with a full understanding of the significance of the item, its character (whether renewable or non-renewable),

legal standing, and any loss of public trust that might result from such action.

2.14 u Responsibility for Deaccessioning

The decision to deaccession should be the responsibility of the governing body acting in conjunction with the director of the museum and the curator of the collection concerned. Special arrangements may apply to working collections. (See 2.7; 2.8).

2.15 u Disposal of Objects Removed from the Collections

Each museum should have a policy defining authorised methods for permanently removing an object from the collections through donation, transfer, exchange, sale, repatriation, or destruction, and that allows the transfer of unrestricted title to any receiving agency.

Complete records must be kept of all deaccessioning decisions, the objects involved, and the disposal of the object. There will be a strong presumption that a deaccessioned item should first be offered to another museum.

2.16 u Income from Disposal of Collections

Museum collections are held in public trust and may not be treated as a realisable asset. Money or compensation received from the deaccessioning and disposal of objects and specimens from a museum collection should be used solely for the benefit of the collection and usually for acquisitions to that same collection.

2.17 u Purchase of Deaccessioned Collections

Museum personnel, the governing body, or their families or close associates, should not be permitted to purchase objects that have been deaccessioned from a collection for which they are responsible.

CARE OF COLLECTIONS

2.18 u Collection Continuity

The museum should establish and apply policies to ensure that its collections (both permanent and temporary) and associated information, properly recorded, are available for current use and will be passed on to future generations in as good and safe a condition as practicable, having regard to current knowledge and resources.

2.19 u Delegation of Collection

Responsibility

Professional responsibilities involving the care of the collections should be assigned to persons with appropriate knowledge and skill or who are adequately supervised. (See also 8.11).

2.20 u Documentation of Collections

Museum collections should be documented according to accepted professional standards. Such documentation should include a full identification and description of each item, its associations, provenance, condition, treatment and present location. Such data should be kept in a secure environment and be supported by retrieval systems providing access to the information by the museum personnel and other legitimate users.

2.21 u Protection Against Disasters

Careful attention should be given to the development of policies to protect the collections during armed conflict and other human-made or natural disasters.

2.22 u Security of Collection and Associated Data

The museum should exercise control to avoid disclosing sensitive personal or related information and other confidential matters when collection data is made available to the public.

2.23 u Preventive Conservation

Preventive conservation is an important element of museum policy and collections care. It is an essential responsibility of members of the museum profession to create and maintain a protective environment for the collections in their care, whether in store, on display, or in transit.

2.24 u Collection Conservation and Restoration

The museum should carefully monitor the condition of collections to determine when an object or specimen may require conservation-restoration work and the services of a qualified conservator-restorer. The principal goal should be the stabilisation of the object or specimen. All conservation procedures should be documented and as reversible as possible, and all alterations should be clearly distinguishable from the original object or specimen.

2.25 u Welfare of Live Animals

A museum that maintains living animals

should assume full responsibility for their health and well-being. It should prepare and implement a safety code for the protection of its personnel and visitors, as well as of the animals, that has been approved by an expert in the veterinary field. Genetic modification should be clearly identifiable.

2.26 u Personal Use of Museum Collections

Museum personnel, the governing body, their families, close associates, or others should not be permitted to expropriate items from the museum collections, even temporarily, for any personal use.

3

Museums hold primary evidence for establishing and furthering knowledge.

Principle

Museums have particular responsibilities to all for the care, accessibility and interpretation of primary evidence collected and held in their collections.

PRIMARY EVIDENCE

3.1 u Collections as Primary Evidence

The museum collections policy should indicate clearly the significance of collections as primary evidence. The policy should not be governed only by current intellectual trends or present museum usage.

3.2 u Availability of Collections

Museums have a particular responsibility for making collections and all relevant information available as freely as possible, having regard to restraints arising for reasons of confidentiality and security.

MUSEUM COLLECTING & RESEARCH

3.3 u Field Collecting

Museums undertaking field collecting should develop policies consistent with academic standards and applicable national and international laws and treaty obligations. Fieldwork should only be undertaken with respect and consideration for the views of local communities, their environmental resources and cultural practices as well as efforts to enhance the cultural and natural heritage.

3.4 u Exceptional Collecting of Primary Evidence

In exceptional cases an item without provenance may have such an inherently outstanding contribution to knowledge that it would be in the public interest to preserve it. The acceptance of such an item into a museum collection should be the subject of a decision by specialists in the discipline concerned and without national or international prejudice. (See also 2.11).

3.5 u Research

Research by museum personnel should relate to the museum's mission and objectives and conform to established legal, ethical and academic practices.

3.6 u Destructive Analysis

When destructive analytical techniques are undertaken, a complete record of the material analysed, the outcome of the analysis and the resulting research, including publications, should become a part of the permanent record of the object.

3.7 u Human Remains and Materials of Sacred Significance

Research on human remains and materials of sacred significance must be accomplished in a manner consistent with professional standards and take into account the interests and beliefs of the community, ethnic or religious groups from whom the objects originated, where these are known. (See also 2.5; 4.3).

3.8 u Retention of Rights to Research Materials

When museum personnel prepare material for presentation or to document field investigation, there must be clear agreement with the sponsoring museum regarding all rights to such work.

3.9 u Shared Expertise

Members of the museum profession have an obligation to share their knowledge and experience with colleagues, scholars and students in relevant fields. They should respect and acknowledge those from whom they have learned and should pass on such advancements in techniques and experience that may be of benefit to others.

3.10 u Co-operation Between Museums and Other Institutions

Museum personnel should acknowledge and endorse the need for co-operation and consultation between institutions with similar interests and collecting practices. This is particularly so with institutes of higher education and certain public utilities where research may generate important collections for which there is no long-term security.

4

Museums provide opportunities for the appreciation, understanding and management of the natural and cultural heritage.

Principle

Museums have an important duty to develop their educational role and attract wider audiences

from the community, locality, or group they serve. Interaction with the constituent community and promotion of their heritage is an integral part of the educational role of the museum.

DISPLAY & EXHIBITION

4.1 u Displays, Exhibitions and Special Activities

Displays and temporary exhibitions, physical or electronic, should be in accordance with the stated mission, policy and purpose of the museum. They should not compromise either the quality or the proper care and conservation of the collections.

4.2 u Interpretation of Exhibitions

Museums should ensure that the information they present in displays and exhibitions is well-founded, accurate and gives appropriate consideration to represented groups or beliefs.

4.3 u Exhibition of Sensitive Materials

Human remains and materials of sacred significance must be displayed in a manner consistent with professional standards and, where known, taking into account the interests and beliefs of members of the community, ethnic or

religious groups from whom the objects originated. They must be presented with great tact and respect for the feelings of human dignity held by all peoples.

4.4 u Removal from Public Display

Requests for removal from public display of human remains or material of sacred significance from the originating communities must be addressed expeditiously with respect and sensitivity. Requests for the return of such material should be addressed similarly. Museum policies should clearly define the process for responding to such requests.

4.5 u Display of Unprovenanced Material

Museums should avoid displaying or otherwise using material of questionable origin or lacking provenance. They should be aware that such displays or usage can be seen to condone and contribute to the illicit trade in cultural property.

OTHER RESOURCES

4.6 u Publication

Information published by museums, by whatever means, should be well-founded, accurate and give responsible consideration to the academic disciplines, societies, or beliefs presented. Museum publications should not compromise the standards of the institution.

4.7 u Reproductions

Museums should respect the integrity of the original when replicas, reproductions, or copies of items in the collection are made. All such copies should be permanently marked as facsimiles.

5

Museums hold resources that provide opportunities for other public services and benefits.

Principle

Museums utilise a wide variety of specialisms, skills and physical resources that have a far broader application than in the museum. This may lead to shared resources or the provision of services as an extension of the museum's activities. These should be organised in such a way that they do not compromise the museum's stated mission.

IDENTIFICATION SERVICES

5.1 u Identification of Illegally or Illicitly Acquired Objects

Where museums provide an identification service, they should not act in any way that could be regarded as benefiting from such activity, directly or indirectly. The identification and authentication of objects that are believed or suspected to have been illegally or illicitly acquired, transferred, imported or exported, should not be made public until the appropriate authorities have been notified.

5.2 u Authentication and Valuation (Appraisal)

Valuations may be made for the purposes of insurance of museum collections. Opinions on the monetary value of other objects should only be given on official request from other museums or competent legal, governmental or other responsible public authorities. However, when the museum itself may be the beneficiary, appraisal of an object or specimen must

be undertaken independently.

6

Museums work in close collaboration with the communities from which their collections originate as well as those they serve.

Principle

Museum collections reflect the cultural and natural heritage of the communities from which they have been derived. As such, they have a character beyond that of ordinary property, which may include strong affinities with national, regional, local, ethnic, religious or political identity. It is important therefore that museum policy is responsive to this situation.

ORIGIN OF COLLECTIONS

6.1 u Co-operation

Museums should promote the sharing of knowledge, documentation and collections with museums and cultural organisations in the countries and communities of origin. The possibility of developing partnerships with museums in countries or areas that have lost a significant part of their heritage should be explored.

6.2 u Return of Cultural Property

Museums should be prepared to initiate dialogues for the return of cultural property to a country or people of origin. This should be undertaken in an impartial manner, based on scientific, professional and humanitarian principles as well as applicable local, national and international legislation, in preference to action at a governmental or political level.

6.3 u Restitution of Cultural Property

When a country or people of origin seeks the restitution of an object or specimen that can be demonstrated to have been exported or otherwise transferred in violation of the principles of international and national conventions, and shown to be part of that country's or people's cultural or natural heritage, the museum concerned should, if legally free to do so, take prompt and responsible steps to co-operate in its return.

6.4 u Cultural Objects From an Occupied Country

Museums should abstain from purchasing or acquiring cultural objects from an occupied territory and respect fully all laws and conventions that regulate the import, export and transfer of cultural or natural materials.

RESPECT FOR COMMUNITIES SERVED

6.5 u Contemporary Communities

Where museum activities involve a contemporary community or its heritage, acquisitions should only be made based on informed and mutual consent without exploitation of the owner or informants.

Respect for the wishes of the community involved should be paramount.

6.6 u Funding of Community Activities

When seeking funds for activities involving contemporary communities, their interests should not be compromised. (See 1.10).

6.7 u Use of Collections from Contemporary Communities

Museum usage of collections from contemporary communities requires respect for human dignity and the traditions and cultures that use such material. Such collections should be used to promote human well-being, social development, tolerance, and respect by advocating multisocial, multicultural and multilingual expression. (See 4.3).

6.8 u Supporting Organisations in the Community

Museums should create a favourable environment for community support (e.g., Friends of Museums and other supporting organisations), recognise their contribution and promote a harmonious relationship between the community and museum personnel.

7

Museums operate in a legal manner.

Principle

Museums must conform fully to international, regional, national and local legislation and treaty obligations. In addition, the governing body should comply with any legally binding trusts or conditions relating to any aspect of the museum, its collections and operations.

LEGAL FRAMEWORK

7.1 u National and Local Legislation

Museums should conform to all national and local laws and respect the legislation of other states as they affect their operation.

7.2 u International Legislation

Museum policy should acknowledge the following international legislation that is taken as a standard in interpreting the ICOM Code of Ethics for Museums:

- u Convention for the Protection of Cultural Property

in the Event of Armed Conflict (“The Hague Convention” First Protocol, 1954, and Second Protocol, 1999);

- u Convention on the Means of Prohibiting and Preventing the Illicit Import, Export and Transfer of

Ownership of Cultural Property (UNESCO, 1970);

- u Convention on International Trade in Endangered

Species of Wild Fauna and Flora (Washington, 1973);

- u Convention on Biological Diversity (UN, 1992);

- u Convention on Stolen and Illicitly Exported Cultural

Objects (UNIDROIT, 1995);

- u Convention on the Protection of the Underwater

Cultural Heritage (UNESCO, 2001);

- u Convention for the Safeguarding of the

Intangible

Cultural Heritage (UNESCO, 2003).

8

Museums operate in a professional manner.

Principle

Members of the museum profession should observe accepted standards and laws and uphold the dignity and honour of their profession.

They should safeguard the public against illegal or unethical professional conduct.

Every opportunity should be used to inform and educate the public about the aims, purposes, and aspirations of the profession

to develop a better public understanding of the contributions of museums to society.

PROFESSIONAL CONDUCT

8.1 u Familiarity with Relevant Legislation

Every member of the museum profession should be conversant with relevant international,

national and local legislation

and the conditions of their employment.

They should avoid situations that could be construed as improper conduct.

8.2 u Professional Responsibility

Members of the museum profession have an obligation to follow the policies and procedures of their employing institution. However, they may properly object to practices that are perceived to be damaging to a museum, to the profession, or to matters of professional ethics.

8.3 u Professional Conduct

Loyalty to colleagues and to the employing museum is an important professional responsibility and must be based on allegiance to fundamental ethical principles applicable to the profession as a whole.

These principles should comply with the terms of the ICOM Code of Ethics for Museums and be aware of any other codes or policies relevant to museum work.

8.4 u Academic and Scientific

Responsibilities

Members of the museum profession should promote the investigation, preservation, and use of information inherent in collections. They should, therefore, refrain from any activity or circumstance that might result in the loss of such academic and scientific data.

8.5 u The Illicit Market

Members of the museum profession should not support the illicit traffic or market in natural or cultural property, directly or indirectly.

8.6 u Confidentiality

Members of the museum profession must protect confidential information obtained during their work. In addition, information about items brought to the museum for identification is confidential and should not be published or passed to any other institution or person without specific authorisation from the owner.

8.7 u Museum and Collection Security

Information about the security of the museum or of private collections and locations visited during official duties must be held in strict confidence by museum personnel.

8.8 u Exception to the Obligation for Confidentiality

Confidentiality is subject to a legal obligation to assist the police or other proper

authorities in investigating possible stolen, illicitly acquired, or illegally transferred property.

8.9 u Personal Independence

While members of a profession are entitled to a measure of personal independence, they must realise that no private business or professional interest can be wholly separated from their employing institution.

8.10 u Professional Relationships

Members of the museum profession form working relationships with numerous other persons within and outside the museum in which they are employed. They are expected to render their professional services to others efficiently and to a high standard.

8.11 u Professional Consultation

It is a professional responsibility to consult other colleagues within or out-side the museum when the expertise available in the museum is insufficient to ensure good decision-making.

CONFLICTS OF INTEREST

8.12 u Gifts, Favours, Loans, or Other Personal Benefits

Museum employees must not accept gifts, favours, loans, or other personal benefits that may be offered to them in connection with their duties for the museum.

Occasionally professional courtesy may include the giving and receiving of gifts, but this should always take place in the name of the institution concerned.

8.13 u Outside Employment or Business

Interests

Members of the museum profession, although entitled to a measure of personal independence, must realise that no private business or professional interest can be wholly separated from their employing institution. They should not undertake other paid employment or accept outside commissions that are in conflict, or may be viewed as being in conflict, with the interests of the museum.

8.14 u Dealing in Natural or Cultural Heritage

Members of the museum profession should not participate directly or indirectly in dealing (buying or selling for profit) in the natural or cultural heritage.

8.15 u Interaction with Dealers

Museum professionals should not accept any gift, hospitality, or any form of reward from a dealer, auctioneer, or other person as an inducement to purchase or dispose of museum items, or to take or refrain

from taking official action. Furthermore, a museum professional should not recommend a particular dealer, auctioneer, or appraiser to a member of the public.

8.16 u Private Collecting

Members of the museum profession should not compete with their institution either in the acquisition of objects or in any personal collecting activity. An agreement between the museum professional and the governing body concerning any private collecting must be formulated and scrupulously followed.

8.17 u Use of the Name and Logo of ICOM

The name of the organisation, its acronym or its logo may not be used to promote or endorse any for-profit operation or product.

8.18 u Other Conflicts of Interest

Should any other conflict of interest develop between an individual and the museum, the interests of the museum should prevail.

Glossary

APPRAISAL

The authentication and valuation of an object or specimen. In certain countries the term is used for an independent assessment of a proposed gift for tax benefit purposes.

CONFLICT OF INTEREST

The existence of a personal or private interest that gives rise to a clash of principle in a work situation, thus restricting, or having the appearance of restricting, the objectivity of decision making.

CONSERVATOR-RESTORER

Museum or independent personnel competent to undertake the technical examination, preservation, conservation and restoration of cultural property. (For further information, see ICOM News, vol. 39, n°1 (1986), pp. 5-6.)

CULTURAL HERITAGE

Any thing or concept considered of aesthetic, historical, scientific or spiritual significance.

DEALING

Buying and selling items for personal or institutional gain.

DUE DILIGENCE

The requirement that every endeavour is made to establish the facts of a case before deciding a course of action, particularly in identifying the source and history of an item offered for acquisition or use before acquiring it.

GOVERNING BODY

The persons or organisations defined in the enabling legislation of the museum as responsible for its continuance, strategic development and funding.

INCOME-GENERATING ACTIVITIES

Activities intended to bring financial gain or profit for the benefit of the institution.

LEGAL TITLE

Legal right to ownership of property in the country concerned. In certain countries this may be a conferred right and insufficient to meet the requirements of a due diligence search.

MINIMUM STANDARD

A standard to which it is reasonable to expect all museums and museum personnel to aspire. Certain countries have their own statements of minimum standards.

MUSEUM *

A museum is a non-profit making permanent institution in the service of society and of its development, open to the public, which acquires, conserves, researches, communicates and exhibits, for purposes of study, education and enjoyment, the tangible and intangible evidence of people and their environment.

MUSEUM PROFESSIONAL*

Museum professionals consist of the personnel (whether paid or unpaid) of museums or institutions

as defined in Article 2, paras. 1 and 2, of the ICOM Statutes, who have received specialised

training, or possess an equivalent practical experience in any field relevant to the management and operations of a museum, and independent persons respecting the ICOM Code of Ethics for Museums and working

for museums or institutions as defined in the Statute quoted above, but not persons promoting

or dealing with commercial products and equipment required for museums and museum services.

NATURAL HERITAGE

Any natural thing, phenomenon or concept, considered to be of scientific significance or to be a spiritual manifestation.

NON-PROFIT ORGANISATION

A legally established body – corporate or unincorporated – whose income (including any surplus or profit) is used solely for the benefit of that body and its operations. The term “not-for-profit” has the same meaning.

PROVENANCE

The full history and ownership of an item from the time of its discovery or creation to the present day, through which authenticity and ownership are determined.

VALID TITLE

Indisputable right to ownership of property, supported by full provenance of the item since discovery or production.

* It should be noted that the terms “museum” and “museum professional” are interim definitions for use

in interpreting the ICOM Code of Ethics for Museums.

The definitions of “museum” and “professional museum workers” used in the ICOM Statutes remain

in force until the revision of that document has been completed.

We are very pleased to publish this new edition of the ICOM Code of Ethics for Museums, especially since the year 2006 marks both ICOM's 60th anniversary and the Code's 20th.

ICOM is committed to circulating our Code as widely as possible to encourage the application of professional ethics worldwide by the greatest number of practitioners.

We thank our partners, UNESCO and the World Federation of Friends of Museums (WFFM), for their generous support in printing this publication.

Alissandra Cummins, President of ICOM

Paris, January 2006

This edition of the ICOM Code of Ethics for Museums was composed in “The Sans” typeface and printed on “Cyclus” recycled paper in January 2006 by NORRY, Paris, France.

Print run: 24 000 copies in English, French and Spanish.

Design: Claire Pasquet / Atelier Fabrizi, Paris - France

Trilingual Editor: Lysa Hochroth / ICOM

Published by the International Council of Museums (ICOM)

Dépôt légal 1er trimestre 2006

(2) フランス国職業倫理規定

2007 年 4 月 26 日付第 2007 / 007 号通達 — 文化遺産法典(code du patrimoine)第 L. 442-8 条適用に
関して、文化遺産を扱う学芸員(国家公務員と地方公務員)及び、その他フランスの博物館²の学術的責任者の
職業倫理に関する憲章

文化・通信大臣より

A

文化遺産学芸員各位

フランス国内博物館の学術的責任者各位

学芸員の職務は古くからあり、フランスでは少なくとも十五世紀から存在したことが証明されている。公的なコレクションの設置に伴い、この職務の威信はさらに高まった。現代社会において、文化遺産の価値が集める注目度が高まったことで、それを管理する学芸員はあらゆる文化政策に必ず関与するようになった。その利益を失うどころか、逆に学芸員の職務は新しい発展の可能性に富んだものとなった。文化遺産の継承と保護に常に注意をはらう立場にあるため、学芸員は今や、社会的及び教育的な活動に関して重要な役割を担っている。人類のものである自然遺産と文化遺産の威光、さらにそこからフランスの威光にすら結び付けられた学芸員は、様々な文化関連の対話にも参加する。国際的な観点からみた学芸員の役割は、知識や知的情報交換を常に更新したいという人々の知識欲によって支えられ、しばしば以前より重要視されるようになっている。

博物館など文化機関の長に置かれている学芸員の中には、文化的また学術的政策ばかりでなく、財政や経営管理上の決定など重大な影響力を持つ様々な責務を引き受けている者がいる。

学芸員、より広範には博物館経営層やその他全ての博物館職員が行う多様な活動は、その責任を果たす中で合議制の原則によって支えられている。今日ではそれによって、次々と職務が履行されているだけでなく、さらに新しい問題も提起されている。さらに、学芸員のあらゆる価値と重要性を強調するため、学芸員に不可欠な職業倫理の指標に改めて注意を促すべきである。

私の要請に応じて、2005 年 7 月に会計検査院の名誉議会会長ジャン＝フランソワ・コリネ氏(Jean-François COLLINET)が提出した報告書は「文化遺産の充実化と保護の倫理」に関するものだが、ここには全ての推薦事項が発表されており、その中に文化遺産を扱う職業に関する職業倫理憲章の作成も含まれる。文化遺産を扱う職業に関連した複数の国際団体による職業倫理コードに言及しつつ、この報告書は以下のことを指摘している。「国は(略)、職業倫理についての手続きを自らのものとしなくてはならない。そのためには、国自らが職業倫

² 法律関連などの文書では「博物館」としていることが多いため、文中の *musee* は、美術館を含んでいるものとしすべて「博物館」と訳した。

理憲章を推敲するか又は推敲の準備を行うか、さもなければ、今日広い範囲で普及し国際的な規模で文化保護関連の職務を信頼する条件の1つとなっているこれらの職業倫理コードを、正式に採用しなくてはならない。」

博物館の国際的現状では、近年を通して、フランスの博物館がより頻繁に国際的な文化交流に参加するようになっている。文化遺産や各文化機関の重要性は、各国及びヨーロッパの政策、外交、グローバル社会の文化交流において高まってきており、その状況下で博物館や学芸員の要請や計画が新しくやり直されることも頻繁にある。国際政治の新たな可能性を託された博物館は、経済的な側面も含めて文化的・社会的交流に関与し、人類の文化遺産の管理も行っている。その博物館を今日支配しているのは、国内の文化と文化遺産に関する法律が行う保護政策である。この法律は、2005 年 10 月 20 日に定められ、2006 年 12 月 18 日にフランスで正式に認められた、文化的表現の多様性の保護及び促進についてのユネスコ協定の考え方に基づいて作られた。

フランスの博物館管理を推進し、多数の博物館の全体的な視察を連携した上で、私の要請に従って推敲されたこの憲章は、フランスの博物館の学術的責任者全体、すなわち、文化遺産法典第 L. 442-8 条によって規定された者、及びフランスの博物館での学問的活動における責任の実行に必要な資格に関する 2002 年 4 月 25 日付第 2002-628 号政令の第 10 条及び第 11 条によって規定された者を対象としている。この憲章中での「学芸員」(conservateur)という語の使用には、条文の解釈を容易にする以外の目的はない。

職業倫理及びフランスの公共サービスに関する諸原則は、フランス国内で責任の及ぶ範囲においてと同様、ヨーロッパ内及びその他海外での活動においても、学芸員の活動、さらにフランスの博物館の運営機関全般を指導するものでなければならない。

この憲章は、主として L'ICOM(「国際博物館会議」Conseil International des Musées の略。ユネスコ公認の非政府団体で、1981 年、既に独自の職業倫理コードの第 1 版を作成。このコードは定期的に更新されている)の職業倫理コードに記載された基本的な原則に基づいている。L'ICOM の職業倫理コードがフランス国内の法律の中で強制的な性格を帯びない場合は、L'ICOM の職業倫理コードの道徳上の価値が国内の職業倫理コードの作成に指針を与えなくてはならない。

この憲章は品行方正であるための方針を集めたものである。その方針は、学芸員の各自が職務に入ったら速やかに、所属する機関において彼に与えられる権限の範囲内で守らなくてはならない。憲章は、ヒエラルキーの原則に違反することは全くない。

この憲章は、国家公務員と地方公務員に関する法的措置、刑法、及び職務と博物館を規制する主要な条文に基づいているが、特に以下の法律を基盤としている。

ーフランスの博物館に関する 2002 年 1 月 4 日付法律(文化遺産法典第 4 巻に編纂)及び適用される多数の政令(特に第 2002-628 号および第 2002-852 号)

－公務員の権利と義務に関する 1983 年 7 月 13 日付法律, 公的職務の現代化に関する 2007 年 2 月 2 日付法律(特に第 2007-148 号第 4 章)による補足付きで。

－所蔵品目録, フランスの博物館に寄託された財産の登録簿の管理及び照合に関する技術上の規範を定める 2004 年 5 月 25 日省令, 照合に関する 2006 年 7 月 26 日付通達, この法律の適用に関するその他の通達

－保管に携わる官吏職団の身分規定に関する条文(文化資産を管理する学芸員及び一般的な学芸員), 改訂後の 1990 年 5 月 16 日付第 90-404 号政令および第 90-407 号政令

－文化遺産の管理にあたる地方公務員の学芸員の雇用枠に関する 1991 年 9 月 2 日付第 91-839 号政令

－法人格を付与された博物館について規定の定めている条文

－国際博物館会議の職業倫理コード(ICOM, 2006 年)

－欧州保存修復業者団体連合(la confédération européenne des organisations de conservateurs-restaurateurs)の倫理コード(ECCO, 2003 年 3 月)

通達によって配布されたこの憲章は, 規定としてではなく目安としての価値を持つ。この憲章は学芸員の職業上の行動を活発にすること, また, 公的であれ, 非営利目的の私的な集まりであれ, フランスの博物館が所属する団体が下す決定を明確にすることを目指している。

この憲章は, フランス博物館高等評議会(Haut Conseil des musées de France)において 2007 年 3 月 15 日に行われた審議に従ったものである。

この憲章は, フランスの博物館に対して有効である。この憲章は, 特化された内容の憲章または, さらに総括的で他と共有可能な憲章が作成されるまで, 関係機関や他の文化遺産関連機関の専門職員にとっての基準となりうる参考文献として使用されることが可能である。

言うまでもなく, この最初の文書は(I) 職業倫理の一般原則を想起させ, (II) 収集品に関して, (III) また一般観覧者に関しての職業倫理の一般原則を明言している。この文書は広範囲の配布とフランスの博物館学芸員の体験を鑑みて改善を促されるであろうし, 年月と共に, これらに対し情報の更新と補足が必要になってくると考えられる。

I－ 総則

学芸員は以下にあげる職業上の慣行を遵守しなければならない。

I - 1 公共サービスの使命

学芸員は, どのような状況にあっても, 自分の職務を, 人類の自然遺産および文化遺産の威光を扱う公共サービスの任務と見なすこと。

いかなる方式で遂行される場合でも、また責任者が成果を上げるために必要な努力がどのようなものであったとしても、博物館の任務と活動とは、利益を生み出す余地のない公共サービスであるということを誰もが忘れてはならない。その反対に、公的な資金援助や私的な寄付またはその両方を広く求めることは必要である。

I-2 職務上の行動

I. 2. 1. 学術的および文化的計画

学芸員は、見学と保存に関して最良の条件下で、自分が管理する美術品やその他の文化資産を提示する義務がある。この義務を果たすため、学芸員は長期的発展と地域開発を視野に入れて博物館の文化的小および学術的計画を構想し、協力要請を検討中の場合も含め、この計画の中にある全てのパートナー関係を記録すること。

I. 2. 2. 法律の知識

すべての学芸員は、国の法律の知識を持ち、国際的な法律の情報やその適用条件の知識を得ることに専念し、またそれらの法律に従わなくてはならない。

学芸員は、博物館に関係した法典(コード)や憲章、規定、さらに自らが任務を全うする施設で適用される諸規則を知っていなくてはならない。

I. 2. 3. 職業教育

すべての学芸員は、自分の担当する分野と活動範囲で要求される最新の知識を常に得るように努めること。

I. 2. 4. 外部に資金援助を求めること

自らの職務実行の枠内で、学芸員は外部からの資金援助を求めることが可能である。この請求は何においても、博物館の利益を損なってはならないし、また、この請求のせいで学芸員が現行の規定や倫理上の命令に違反する可能性のある契約に巻き込まれることがあってはならない。

外部で得られる援助の多少に関わらず、学芸員は博物館の諸活動において完全に支配的な立場でなくてはならない。また、これらの活動によって生み出される資源は、その学芸員が管理している博物館に全面的に戻されるように、彼自身が監視しなくてはならない。

I. 2. 5. 所轄の分配

博物館にとって効果的な決断を確実に行うために必要な能力のある者がいない場合、学芸員は関係機関の内外で専門家に相談しなくてはならない。

I. 2. 6. 評価の義務

学芸員は、所轄の官庁による勤務評定、視察、監査の機会において実施される全ての評価を受け入れる義務

がある。

I-3. 秘密保持

学芸員は、その性質又は上司の命令によって秘密にしなければならない性格を持つと思われる事実、情報または文書について自らの職務の実行中又は実行する機会において知ることがあっても、それを暴露することを禁じられている。ただし、権威当局から許可が出た場合はその限りではない。

法律によって定められた制限の他、秘密保持が特に適用されるのは、美術品獲得の計画、市場とのつながりで実行中の全ての取引、私生活の保護に関する全ての情報である。

博物館、その所蔵品及び職務実行中に訪問を受ける私有地(特に収集家の住居)の安全性に関する情報は、学芸員にとって最も厳格な秘密保持の対象となる。

権限を持つ公的権力が、違法に又は窃盗によって獲得または移転された可能性のある文化資産について調査するのを法的義務が援助する場合には、秘密保持によってこの調査を阻害することはできない。

I-4. 職務上の責任

学芸員は、所属する機関の規則、政策および諸手続きを遵守し適用する義務がある。自らの責任を実行する中で学芸員は、獲得、修復、学術的または文化的計画に関して、合議制の原則によって支えられている。学芸員は、自分が従属している行政当局と彼を雇用している法人に対して忠実に奉仕する義務がある。しかしながら、学芸員は、博物館や職務内容を損なったり、職業倫理に反すると自分には見える行為があれば、節度と守秘義務、服従を守った上で、彼を雇用する法人に対して自らの反対意見を申し出ることが可能である。指導的立場にある官庁やフランスの博物館の監督者は、自分たちの決定を明確にするために、このような反対意見の表明を考慮に入れることを義務づけられている。

学芸員には、あらゆる違法な職務上の行為または職業倫理に反する行為から博物館と鑑賞者を守ることが義務づけられている。

I-5. 活動の兼任

学芸員は、自分の所属する施設の学術的および文化的政策において実行される業務の外で、博物館全体の利益に反して自分の知識や時間を提供し報酬を得ることを禁じられている。公務員である学芸員は、特に、公務員の権利と義務を記した 1983 年 7 月 13 日付法律第 25 条を遵守して行動しなくてはならない。なお、2007 年 2 月 2 日付第 2007-148 号法律第 4 章では公的職務の現代化に関して明確化されているので、これも合わせて遵守すること。

I-6. 商取引と専門家による鑑定

学芸員は、直接的であれ間接的であれ、美術品および文化遺産品の商取引と専門家による鑑定に自分の知識を漏らすことを禁じられている。しかし、学芸員は、大臣又は後見役となる当局の許可があれば、裁判所の命令で行う鑑定を実施したり、万一の場合に自分の所属する施設の上司から情報を得た後で、行政当局の要請に

答えるためのアドバイスを与えたりすることができる。

学芸員は、自分が責任を持っている美術品の評価を行うこと(保険、贈与品の活用など)。無償または有償の獲得品の価格に対し異議を申し立てられる可能性がある場合、学芸員は利害関係から独立した立場にある鑑定サービスを用いること。博物館に貸し出された物品の保険価格の承認を行う際、その市場価格に関して学芸員が義務を負わされてはならない。

学芸員は、どんな場合であれ、販売物や画廊のカタログ作成に協力してはならない。よりおおまかに、商業目的の鑑定と同等であると見なされる可能性のある学術的または知的な寄与についても、同様に禁止される。また学芸員は、商業従事者や競売吏、専門家、さらにどのような職種であれなんらかの利益を得る者の中で、ある人物を特に選んで推薦することを禁じられている。反対に学芸員は、自分の持つ情報に応じて、職務で作成した年鑑や目録の閲覧の許可を出すことができる。

I-7. 公明正大さ

学芸員は、いかなる状況においても、自らの個人的な利益のために公的な立場から不当な利益を引き出すことを禁じられている。

学芸員は、職業人としての考察に応じてのみ、決断を下したり行動したりしなければならない。彼は、外部からのあらゆる道徳的又は財政的懇願(贈り物、招待、現物給与など)を拒否しなくてはならない。

I-8. 収集の権利

学芸員は、美術品獲得、またはあらゆる個人的な収集活動を目的として博物館との競争に参加することを禁じられている。また、彼が管理する美術館において自分が所有している文化資産を売却することも禁じられている。

I-9. 個人的な目的のために博物館の収集品を使用することの禁止

学芸員は、博物館内の職員、自分自身、家族や近い者、またあらゆる全ての者に対し、たとえ一時的であっても、個人的な使用目的または美術館の任務に含まれない使用目的で博物館の収集品に由来する物品の使用することを許可してはならない。

II・ 収集品

学芸員は、文化遺産法典第 L. 451-5 条の規定にしたがって、収集品の譲渡不可能性の保証人であること。

学芸員は、自分が保護を任されている収集品の責任者である。彼の任務は、有形及び無形の文化資産を保護し、それらの修復が最良の条件下で行われているかどうか、貸与又は寄託の枠内で行われる文化資産の流通が、資産の保存状態を守るため安全に行われているかどうかを監視することである。学芸員は、適切で周到な獲得の方法を提案及び実施し、学術的手続きの中の優先事項となるような形で収集品に関する資料や研究書、

出版物を充実させなくてはならない。さらに、彼が管理している収集品の目録や写真資料を常備し、複製作業の全過程を監視しなくてはならない。

II. 1. - 保管

この憲章では、フランスの博物館の指導で配布される通達や文書に記載の目録、刻印、照合など、各博物館が適用している技術操作の細部については叙述しない。

A - 物品の保管及び適切な安全性に関する規則に注意すること

危険防止を念頭に置いた保管は、博物館の政策及び収集品の保護に不可欠な要素である。

- ・学芸員は、保管中であれば展示中であれば、自分の管理する収集品を保護する環境を整え、維持することに留意する。彼は、博物館の外部に寄託された又は貸与された作品が良好な保管状態にあることを確認しなくてはならない。作品が輸送される場合、可能な限り学芸員自身か、学芸員に委任された有能な資格保有者が輸送に付き添わなくてはならない。
- ・学芸員は、寄託された作品が、安全性、保管方法及び適切な展示方法の諸条件を満たし、適切であると認められた場所に置かれているかどうかに注意すること。
- ・学芸員は、衛生管理、検査および追跡に関する正規のプログラムを設置すると共に、危険防止と緊急時の介入(武器を持った者による衝突や自然災害)についての計画書も作成しなくてはならない。
- ・学芸員は、美術品の場所を常時把握出来るように、収集品の管理システムを整え、維持すること。彼は収集品の非常用写真資料を常備していなくてはならない。彼は、収集品が適切かつ安全な状態で置かれる条件を確保し、全ての場合の紛失や文化財破壊行為が警察当局および所轄の憲兵に通報されるように注意すること。
- ・学芸員は、公的または私的なデモ行為のために博物館の空間が使用される際に、作品の良好な保存状態が損害を受けないように注意すること。
- ・学芸員は、博物館管理の装置が、最も高い知識水準に応じつつ、作品や環境、人体に害を及ぼさないような製品、資材、手順のみで使用されているかどうか注意すること。

B - 目録に関する規則の実施に注意をはらうこと

全ての学芸員は、自分が管理する博物館目録の作成と保管に関して責任を持つ。彼は、フランスの博物館に関する法律の適用に関する 2002 年 5 月 2 日付第 2002-852 政令第 1 編および 2004 年 5 月 25 日付省令で規定されているとおり、目録に関する規則の実施に注意をはらわなくてはならない。

C - 目録照合の実施

学芸員には、自分が管理する収集品を 10 年ごとに照合する義務がある。2004 年 5 月 25 日付法令に明記されているとおり、もし学芸員が離職する場合、所轄の学芸員は、目録帳簿に記録された文化資産と照合作業の後に欠落していると見なされた寄託中の物品の一覧表を、自分の上司を介してフランスの博物館の所有者である法人に提出することになっている。

D - 災難に遭った収集品に関する警告

自分が責任を持っている収集品が、文化遺産法典第 L. 452-2 条に明記されるような意味で災難に遭っている場合、学芸員は自分の上司または監督者に警告しなくてはならない。上司または監督者が沈黙している場合は、国の行政当局に警告する。国の行政当局は、フランス博物館高等評議会の通告を受けた後に正当化された決定によって、この状況を修復するためのあらゆる措置をとるように所有者に命令を下すことができる。

E - 人間の遺骸を尊重する

人間の遺骸は、人間としての誇りを尊重しながら、職業上の規範に応じて研究され、保管され、展示されること。

F - 生きた収集品を尊重する

生きた収集品に関して学芸員が尊重しなければならないのは、エコロジー・持続的な開発省による 2004 年 3 月 25 日付省令第 53 条から第 56 条までの作成に指針を与えた職業倫理的な義務である。エコロジー・持続的な開発省は、恒常的な性格を持つ動物園施設の設備に関して、その働きの全体的な規則と一般的な特徴を定めている。該当する動物園施設とは、地域または外部にいる動物相の生きた見本を一般公開し、環境保護のために分類された設備リストの項目 21 から 40 に属しているような施設のことである。

学芸員は、特に動物の心身の健康、生物学的多様性の維持、環境の保護に注意しなくてはならない。生きた収集品の学術的な活用は、研究対象となる種を尊重しつつ行われなくてはならない。

G - 無形文化財の保護に関する注意

無形文化財の場合、学芸員は、文化的表現の多様性の保護と促進に関するユネスコ協定を参照すること。この協定は 2005 年 10 月 20 日付で署名され、2006 年 12 月 18 日にフランスで正式に認められている。

文化財の獲得と生産、口頭での収集の放送には、第三者の尊重、また第三者の声や姿、時にはその同意の尊重までもが不可欠なものとして考慮に入れられるくらいの慎重さが求められる。

II-2 貸与と寄託

a - 決定

貸与や寄託に関して、学芸員は活動的に文化の普及に貢献すること。なぜなら、学芸員は一般鑑賞者に対して、自分が責任を持っている収集品がよりよく知られるような方法を与えなくてはならないからである。さらに彼は、常に貸与や寄託の求めに好意的に応じるようにしなくてはならないが、応じる前には、前述の請求を促した計画の学術的適性、文化資産の保管状態、輸送と展示場所に関して予想される安全と保管の保証、貸与作業の管理にあたる美術館の技術的な処理能力を確認しなくてはならない。

収集品の移動と流通は、常に、物理的に移動に耐えうることが確認された範囲に従って行うこと。貸与と寄託によって作品を破損することが決してあってはならない。もし、求められた作品の物理的な保存事情によって、貸

与又は寄託の要請に好意的な返事をする事ができない場合、学芸員は借りる側の機関に対し、この拒否を法的に正当化する全ての説明をしなければならない。

b - 検査

貸与および寄託が行われるためには、その期間中ずっと、貸与者または寄託者によって指名された有資格者による文化資産の展示や安全性、保存状況の検査を利用者側が受け入れ、さらに、逆の取り決めをする場合を除き、文化資産が破損した場合には修復費用を負担する約束を利用者側がしなくてはならない。リスクの種類に応じて特化された保険契約または政府の保証への申込が必要であり、受益者の選択に関して美術品を借りる側が圧力を受けることはない。保険業者に所有者の立場を取ることを許可する条項(つまりこの場合、もし手当が支払われれば、盗まれた後で見つかった文化資産は返却されない)は、フランスの博物館収集品の譲渡不可能性によって絶対に禁止されなくてはならない。輸送は有資格者またはそれを専門とする企業によって確実に行われなくてはならない。

c - 代償

フランスの博物館の収集品は現金化されないこと。それらは商品と同一視することができない。収集品の貸与を賃貸借の価格に従属させることはできないし、それは全体的な利益を生む文化的目的によって正当化された場合だけ特別に検討されなくてはならない。

しかし、収集品から構想された展覧会を各地で行うことが正当化され、博物館にとっての資金源となりうることもある。

このような提唱は、それが収集品とフランスの文化についての知識を世界に浸透させるのに貢献する限り正当なものである。博物館の収集品の貸与を金銭と引き替えに行うことは例外的な場合にしか容認されない。他にこれが容認されるのは、複数の機関の交流や国際的な協力に関連した文化的かつ学術的な成果が期待されている場合、または収集品の充実化、保管、展示の条件を改善し、博物館の国内外での威光を高め、一般鑑賞者への大規模な普及を促すのを可能にするというような成果が期待される場合である。

しかしながら、この種の金銭を介した貸与による展示は、財政上の相互性を持たないがその学術的、文化的利益のみにより認められる計画や、または、他の美術館、とりわけ地方の美術館からの貸与や寄託の要求について議論を行い、その結果実現した計画に優先してはならない。この優先権は、たとえそのようにして優先された計画が、金銭的な資源を生み出すような他の作品展示計画を延期させることになった時でも認められなくてはならない。この規律に違反したフランスの博物館は、その公的サービスという特徴と文化の公平な分配という高次の任務をたちまち失うことになる。

学芸員は、その都度可能なかぎり、貸与に関する書類を管理するにあたって料金が請求されていないか注意を払うこと。

借り手側に修復や額入れ、借り出した文化資産の組み立てを引き受けてもらうという慣例は、特にこの料金が非常に高額になる場合や、常設展示の対象にならない作品に関わっている場合、単発的になら受容可能である。

II. 3. - 修復

A - 修復のプログラムと手続き

a - 鑑定

フランスの博物館に所蔵される文化資産は、その修復を行う前には必ず、文化遺産法典第 L. 452-1 条で定められた学術機関の鑑定を受けなくてはならない。

b - プログラム

学芸員は、自分が管理する全ての収集品の調査を保証するような保存と修復のプログラムを立ち上げること。

c - 修復の手続き

修復の主な目的は、物品と見本の保存でなくてはならない。保存と修復の全ての手続きは、資料によって裏付けられなくてはならず、手続きは一度始まった後でも元に戻すことが出来るだけ可能でなくてはならない。つまり、オリジナルの物品または見本の変形は、常に明瞭に同一視できなくてはならない。学芸員は作品の元の状態が尊重されているかどうか注意しておかなくてはならない。しかし、保存の観点または歴史的、美的観点から根拠のある議論は、修復の際に小さな部分の隠滅を正当化することがある。除去された破片は、歴史的には関連性があるので、保存され何の破片なのか識別されなくてはならない。手続きはもれなく資料に記録されなくてはならない。

B - 修復の実施

修復は全て、文化遺産法典第 L. 452-1 条に従い、学芸員の指導の元、修復専門家の手で行われること。修復は、作品が前もって資料によって裏付けられていることを必要とする。修復は、現在の知識レベルに対応し、作品、環境、人体を損なわないような製品、資材、方法によって行われること。修復は、一度始まった後でも、出来る限り容易に元の状態に戻せるようでなくてはならない。学芸員は、個々の修復が、その修復を考証する書類（診断としての調査及び保存と修復への介入の詳細）の中で扱われているかどうか注意すること。それらの資料は博物館内で閲覧可能であり、参加した修復専門家たちの名前を記載していること。このことは、なぜ学芸員が修復専門家の道徳観念の特質に注意深くしなくてはならないかの理由である。将来の参考資料としてこの修復専門家の書類が保存されていく。

II. 4 - 充実化

a - 収集品の獲得政策

フランスの博物館の収集品は譲渡不可能であり、学芸員は自分が管理する収集品の全体または一部を譲渡したり、売却したり、あるいは譲渡や売却を請け負ったりしてはならない。ただし、文化遺産法典(第 L. 451-6 条)

によって定めた場合については、この限りではない。

反対に、学芸員はその職権の範囲内で、適切な獲得政策を定義および提案し、それを博物館の学術的および文化的計画の中に組み入れて定期的に見直すこと。

獲得政策を遂行するために、学芸員は、諸決定を取りしきる合議制の原則に基づいて行動すること。

b - 学術機関の意見

文化遺産法典第 L. 451-1 条の適用により、有償か無償かに関わらず、文化資産獲得はフランスの博物館の収集品を充実させることを狙いとし、学術機関の意見に従って行われるものとする。

c - 警戒

学芸員はあらゆる獲得計画に対してしっかりした警戒を行うこと。

- ・取引される文化資産が合法的に所有されていたのかどうかを確認するために必要な手続きの全てを、獲得する側の博物館が請け負ったのでなければ、文化資産は、買取、贈与、遺贈または交換によって獲得されてはならない。学芸員はとりわけ、L'ICOM が作成した文化資産のリスト・ルージュ を参照しなくてはならない。

- ・買取、贈与、遺贈、寄託または相互寄託によって物品または見本品を獲得する前に、学芸員は、その獲得物が原産国またはこの物品を合法的に所有されていると見なす免税通過国で不法に獲得された（またはそれらの国に不法に輸入された）のではないことを確認しなくてはならない。

- ・獲得される物品は、記念建造物、考古学上または地質学上の発掘地点、または自然保護の対象となる生物種や生育環境に対する、非学術的にまたは故意に禁止を破って行われた非合法の発掘、破壊または損壊に由来するものであってはならない。

学芸員は、以下のことをしなくてはならない。

- ・作品の状態を確認する
- ・最新の知識から得られた資料にしたがって、物品の本物としての正当性と、その物品の責任の所在を確認する
- ・物品の創作時および発見時にさかのぼる、できるだけ完全な年代記を作成する
- ・市場価格と請求価格を比較し、売却者の権利侵害を避けつつ買取価格が上がりすぎないようにする
- ・獲得に関連した諸権利について、全ての情報を収集する（著作権、著作者人格権、複製権、肖像権など）。

文化資産の由来に深刻な疑いが持たれる場合（所有権の譲渡、考古学上の発掘、違法な取引など）、学芸員は、有償か無償かにかかわらず、博物館によるその物品獲得の提案を取りやめ、所轄の当局に意見を求めること。

II. 5. - 研究調査

a - 収集品の研究調査

学芸員は、恒常的かつ可能なかぎり徹底的に、収集品の研究調査を推進すること。

b - 収集品の学術上のアクセス可能性

学芸員は、最適な技術を使って、収集品およびそれに結びつく全ての情報を、できるだけ自由にアクセスできる状態にしておくこと。

c - 研究

博物館の職員による研究は、博物館の任務と目的に関連したものではなくてはならない。収集品のカタログ作成は優先的な目的でなくてはならない。学芸員は、職員の研究成果を学術的共同体に認知されるようにしなければならない。学芸員は、博物館で学問に従事する職員の研究成果の利用が認められるようにしなければならない。

博物館にある全ての作品は資料文書で扱う対象となること。資料文書はその典拠を明確にし、常に内容を充実させておかなくてはならない。

来るべき時には博物館の文書資料館に収められなくてはならない研究用の資料と同じく、研究者の著作者人格権を尊重するという条件付きで、学芸員の職務の枠内で行われる収集品関連の文献調査も博物館の所有となる。

学芸員は、文献調査の中に含まれた情報の伝達範囲の制限を明示すること(ある種の情報、私生活、著作者人格権等の秘密保持の尊重)。

d - 出版

現在博物館にある収集品関連文献の出版は、全ての学芸員にとって優先事項のうちの 1 つである。

収集品について行われた研究の成果は公的なものとなるのが望ましい。博物館によって出版された情報は、どのような方法であれ最新の知識を反映していなくてはならない。博物館による出版は、その分野に関しての権利および慣例、とりわけ知的所有権法典を尊重すること。

e - 展覧会

展覧会のテーマ選択、展示物の選別、その質および由来は、学術上の問題を注意深く検討しつつ、人々の知識をより豊かにすることに貢献しなくてはならない。

f - 研究対象となった物品に関する諸権利の所持

学芸員が、彼の管理する施設の所蔵品ではない物品を用いて展覧会を企画したり資料文献を出版する時には、実行される仕事に関する全ての権利について所有者から承諾の署名を得なければならない。

g - 写真による複製

収集品の写真を準備することは優先的になされるべき任務の 1 つである。学芸員は、博物館がその写真の撮影者との間に必要な契約の規定を全て満たした上で写真の使用権を所有しているのかどうかを確認すること。

学芸員がその職務遂行において撮影した写真は博物館に帰属するが、これによって学芸員の著作者人格権が損なわれることはない。

学芸員は、収集品の写真を、彼の所属する機関が使用する場合と同様に彼自身が使用する場合にも、芸術家および写真家の著作権が法的に定められた保護期間中に尊重されているかどうか注意すること。他の使用者にとっては、作者または編集者に対して写真の使用許可の要請と必要な手数料支払いを履行する必要がある。

学芸員は、鑑賞者、職員、物品に害を及ぼさないという条件付きで、自分が管理する物品の写真撮影を容易にすること。商業目的で使用する写真の場合、博物館は、その撮影場所、作品および職員を用意するための特別な料金を受領する権利がある。学芸員には、撮影の代理店や編集者に対して、出来上がった写真のサンプルやその写真が載っている出版物を要求することが勧められている。

学芸員はさらに、作品の解釈を侵害したり博物館のイメージに損害を与えたりするような写真使用のあり方には反対することができる。

h - 複製、鋳造、複写、派生物

学芸員は、作品の元々の状態、作者の著作者人格権および財産権、複製の結果的な質を保護するために、複製作業の全体に対して制限を設けること。

絵画の複写の場合、学芸員は、原画の大きさの変更や、原画と複製が混同されるのを避けるための措置が全てなされていることを確認する。

学芸員は、全ての版(彫刻や版画など)が現行の法律および鋳造技術者法典に従っているか、彫刻作品や版画作品を不当な仕方で伝えるものになってはいないかに注意すること。版の法的位置づけは明確に特定することが可能でなくてはならない(版のサンプルまたは複製)。学芸員は、いかなる場合でも、その外観や包装によって博物館のイメージをゆがめたり物品の価値を下げたりする可能性のある派生製品を、収益を口実にして法的に有効であると認めてはならない。

i - 学芸員の文芸的および芸術的所有権

公的サービスの職務遂行における最低限の必要に応じて、公務員である学芸員がその職務遂行または受けた指示において創作した作品の活用権は、その創作終了と同時に、正当な権利として国に、また万一の場合はこの学芸員が所属する施設に、譲渡される。

前述の学芸員に支払われる報酬の方式は、知的所有物法典の条項およびこの学芸員の後見監督によって明示された政策に従って、定められる。

III - 一般鑑賞者に関する政策

a - 応対とアクセスのしやすさ

学芸員は応対の質を監視する規範を尊重すること。

学芸員は、できるだけ幅広い鑑賞者に対して収集品をアクセス可能にすること。また、2005 年 2 月付の障害と機会の平等に関する法律の適用により、障害者(区別なく全ての障害)のアクセスについて高い意識を持たなくてはならない。

b - 作品の展示, それに関する知識の普及

学芸員は, 自分が所属する施設の政策に組み入れられた学術的および文化的計画にしたがって, 見学のために最良の条件の中で作品を展示する義務がある。学芸員は, 全ての媒体を使い(文書, オーディオガイド), フランス語のみを使用するのでない場合は 3 カ国語の翻訳があるかどうかに注意しながら, 展示品の理解を容易にしなくてはならない。

c - 一般鑑賞者の知識

人の尊重に関する現行の規範にしたがって, 一般鑑賞者のより高い知識をねらいにした研究と調査が実現されなくてはならない。

d - 文化活動

学芸員は, 自分の所属施設の文化的, 教育的および社会的役割を発展させる義務がある。文化遺産法典第 L. 442-7 条の適用により, 学芸員は, 一般鑑賞者の受け入れ, 文化の普及, その活性化及び媒介を担うサービスの発展を支援しなくてはならない。学芸員は, 規約どおりの博物館任務に害を与えないように注意し, また学術的および文化的プログラムとの一貫性を持って博物館の活動が企画されているかどうかを監視しなくてはならない。この制限において学芸員は, 最も多様な活動や習得科目への窓口として博物館を開くよう専念すること。これらの活動内容の管理は, 学芸員に帰するものとする。

e - 支援団体とメセナ活動

学芸員は, 支援団体の活動が自分の所属する施設の規則に合意して実行されているかどうか監視すること。

学芸員は, これらの団体との協定の作成を監視し, ボランティア活動者の身分を確保すること。

企業及び個人のメセナを優遇する法律の枠内で, 学芸員は, メセナ行為の対象およびメセナ行為の恩恵にあずかる活動の対象となり得る計画の憲章の作成を監視すること。

この憲章を, 徐々にその内容を充実させ, 必要に応じて進歩させるためのあらゆる所見と提案を, フランスの博物館の経営部に呼びかけていただけますようお願い申し上げます。この憲章の最新版は, フランス博物館高等評議会および文化資産管理についての倫理及び職業倫理専門の高等機関に従属するものとなります。その機関の連絡先は以下のとおりです。

フランス博物館経営部(博物館監督局)

6, rue des Pyramides, 75041 Paris – Cedex 01

文化通信大臣

【フランス国職業倫理規定】

**Circulaire n° 2007/007 du 26 avril 2007 portant CHARTE DE DEONTOLOGIE
des conservateurs du patrimoine (fonction publique d'État et territoriale) et
autres responsables scientifiques des musées de France pour l'application de l'article L. 442-8
du code du patrimoine**

Le ministre de la culture et de la communication

A

Mesdames et Messieurs les conservateurs du patrimoine,

Mesdames et Messieurs les responsables scientifiques des musées de France,

La fonction de conservateur est ancienne, puisqu'elle est attestée en France au moins depuis le XV^{ème} siècle. Avec la mise en place des collections publiques son prestige s'est trouvé renforcé. L'attention accrue portée aux valeurs patrimoniales dans la société contemporaine a conduit le conservateur à devenir un des acteurs essentiels de toute politique culturelle. Loin de perdre de son intérêt, le métier s'est bien au contraire enrichi de nouveaux enjeux. Toujours attentif à la transmission et à la protection du patrimoine, le conservateur a désormais un rôle important en matière d'action sociale et éducative. Attaché au rayonnement du patrimoine naturel et culturel de l'humanité, et par là même à celui de la France, il participe également du dialogue des cultures. Son rôle sur le plan international s'en trouve souvent accru, soutenu par un désir toujours renouvelé de connaissance et d'échange intellectuel.

Ceux des conservateurs qui sont placés à la tête des institutions culturelles que sont les musées assument des responsabilités et charges multiples, non seulement de politique scientifique et culturelle mais aussi de décisions financières, de direction et de gestion, souvent lourdes de conséquences.

Les actions diversifiées conduites par le conservateur, et plus largement par les organes de direction et l'ensemble des agents des musées, soutenues par le principe de collégialité dans l'exercice des responsabilités, sont aujourd'hui une source de plein accomplissement professionnel mais aussi de questions nouvelles. Aussi convient-il de rappeler les repères déontologiques essentiels de cette profession, afin d'en souligner toute la valeur et l'importance.

A ma demande, un rapport remis en juillet 2005 par M. Jean-François COLLINET, président de chambre honoraire à la Cour des Comptes, relatif à l'« Ethique de la conservation et de l'enrichissement du patrimoine culturel », a émis un ensemble de recommandations parmi lesquelles la rédaction de chartes de déontologie pour les professions du patrimoine. Mentionnant les codes de déontologie élaborés par les associations internationales des professions du patrimoine, ce rapport indiquait que « l'État devrait [...] faire sienne la démarche déontologique au point d'élaborer lui-même ou susciter leur élaboration, ou d'adopter officiellement ces codes de déontologie aujourd'hui largement diffusés et qui constituent une des conditions de la crédibilité des professions de la conservation au niveau international ».

L'actualité internationale des musées, qui a vu, au cours des années récentes, les participations des musées français aux échanges culturels internationaux se multiplier, l'importance du patrimoine et des institutions culturelles dans les politiques nationales et européennes, dans la diplomatie et dans les échanges culturels mondialisés, ont accru et souvent renouvelé les sollicitations et les projets des

musées et des conservateurs. Enjeux de politique internationale, acteurs des échanges culturels et sociaux, incluant leur dimension économique, les musées, dépositaires du patrimoine culturel de l'humanité, sont plus fortement régis aujourd'hui par les protections qui résultent pour eux des législations culturelles et patrimoniales nationales dans l'esprit de la convention UNESCO sur la protection et la promotion de la diversité des expressions culturelles du 20 octobre 2005, ratifiée par la France le 18 décembre 2006.

Élaborée, conformément à ma demande, à l'instigation de la direction des musées de France et sous la coordination de l'inspection générale des musées, la présente charte s'adresse à l'ensemble des responsables scientifiques des musées de France tels que définis par l'article L.442-8 du code du patrimoine et les articles 10 et 11 du décret n° 2002-628 du 25 avril 2002 relatifs aux qualifications requises pour exercer la responsabilité des activités scientifiques d'un musée de France. L'utilisation du mot "conservateur" au sein de la charte n'a d'autre but que d'en simplifier la lecture.

Les principes de déontologie et de service public français doivent conduire l'activité des conservateurs, et plus généralement les organes dirigeants des musées de France, tant dans leurs responsabilités internes au territoire français que dans leurs activités européennes et internationales.

La présente charte repose essentiellement sur les principes fondamentaux qui figurent dans le code de déontologie de l'ICOM (« Conseil International des Musées », organisation non gouvernementale reconnue par l'UNESCO qui a élaboré dès 1981 une première version de son code de déontologie, régulièrement remise à jour). Si le code de déontologie de l'ICOM ne présente pas de caractère contraignant en droit interne français, sa grande valeur morale doit inspirer l'élaboration des codes nationaux de déontologie.

La présente charte rassemble des principes de bonne conduite que chacun des conservateurs se doit de respecter dès qu'il entre dans la fonction et dans la limite des attributions qui sont les siennes au sein de l'institution dont il relève. La charte n'expose en aucune façon à déroger au principe hiérarchique.

La présente charte s'appuie sur les dispositions législatives et réglementaires afférentes à la fonction publique d'État et territoriale, sur le code pénal et sur les textes essentiels qui régissent la profession et les musées, et notamment sur :

- la loi du 4 janvier 2002 relative aux musées de France (codifiée au livre IV du code du patrimoine) et les différents décrets pris en application (n° 2002-628 et 2002-852 notamment),
- la loi du 13 juillet 1983 portant droits et obligations des fonctionnaires complétée notamment par la loi du 2 février 2007 relative à la modernisation de la fonction publique (n° 2007-148, chap.4 notamment),
- l'arrêté du 25 mai 2004 fixant les normes techniques relatives à la tenue de l'inventaire, du registre des biens déposés dans un musée de France et au récolement, la circulaire relative au récolement du 27 juillet 2006 et les autres circulaires d'application de la loi,
- les textes relatifs au statut des corps de la conservation (conservateurs du patrimoine et conservateurs généraux), décrets n°90-404 et 90-407 du 16 mai 1990 modifiés,
- le décret portant cadre d'emplois des conservateurs territoriaux du patrimoine, n°91-839 du 2 septembre 1991,
- les textes statutaires des musées dotés de la personnalité juridique,
- le code de déontologie du conseil international des musées (ICOM, 2006),
- le code éthique de la confédération européenne des organisations de conservateurs-restaurateurs (ECCO, mars 2003).

La présente charte, diffusée par voie de circulaire, a valeur non pas réglementaire mais indicative. Elle entend animer les comportements professionnels des conservateurs et éclairer les décisions des collectivités, collectivités publiques ou entités privées à but non lucratif, dont relèvent les musées de France.

Elle a été soumise au Haut Conseil des musées de France dans sa séance du 15 mars 2007.

Elle vaut pour les musées de France et peut, dans l'attente de chartes spécifiques ou d'une charte commune plus générale, servir de référence pour les institutions et les professionnels des autres institutions patrimoniales.

Il va de soi que ce premier document, qui rappelle les principes généraux de déontologie (I) et qui les précise, d'une part en ce qui concerne les collections (II), d'autre part en ce qui concerne le public (III), appellera des perfectionnements à la lumière d'une large diffusion et de l'expérimentation des conservateurs des musées de France, et qu'il nécessitera des actualisations et des compléments au fil des années.

I- PRINCIPES GENERAUX

Le conservateur s'oblige à respecter les pratiques professionnelles suivantes :

I-1 - Mission de service public

Le conservateur considère en toute circonstance sa fonction comme une mission de service public qui vise au rayonnement du patrimoine naturel et culturel de l'humanité.

Nul ne doit oublier que la mission et l'activité d'un musée de France est une mission de service public non susceptible, quelles que soient les modalités selon lesquelles elle est accomplie, et quels que soient les nécessaires efforts d'efficacité de ses responsables, de générer un bénéfice ou un profit et nécessite très généralement au contraire un financement public net et/ou la générosité privée.

I-2 -- Conduite professionnelle

I.2.1. Projet scientifique et culturel

Le conservateur a le devoir de présenter les œuvres d'art et les autres biens culturels dont il a la garde dans les meilleures conditions de visite et de conservation. A cet effet, dans une perspective de développement durable et d'aménagement du territoire, il conçoit le projet scientifique et culturel du musée et inscrit tous les partenariats existants ou envisagés au sein de ce projet.

I.2.2. Connaissance de la législation

Tout conservateur s'attache d'une part à connaître les législations nationales, et, d'autre part, à s'informer des législations internationales, ainsi que de leurs conditions d'application, et à s'y conformer.

Il doit connaître les codes, chartes ou dispositions concernant le travail muséal, ainsi que les règles applicables au sein de l'établissement dans lequel il accomplit ses missions.

I.2.3. Formation continue

Tout conservateur cherche à se tenir à jour dans l'évolution des connaissances requises dans son domaine de compétence et son champ d'activité.

I.2.4. Recherche de financements extérieurs

Dans le cadre de l'exercice de ses fonctions, le conservateur peut être conduit à la recherche de financements extérieurs. Cette recherche ne doit en rien nuire aux intérêts du musée, ni engager le conservateur dans des compromis qui seraient contraires aux réglementations existantes et aux prescriptions de l'éthique.

Quelle que soit l'importance des soutiens extérieurs obtenus, le conservateur garde l'entière maîtrise des activités du musée et il veille à ce que les ressources suscitées par ces activités puissent revenir intégralement au musée dont il a la charge.

I.2.5. Partage de compétences

Si un musée ne possède pas les compétences nécessaires pour assurer une prise de décision efficace, le conservateur doit consulter des spécialistes, au sein ou en dehors de l'institution.

I.2.6. Obligation d'évaluation

Le conservateur s'oblige à accepter toute évaluation pratiquée à l'occasion de notation, d'inspection, ou d'audit par les autorités compétentes.

I-3 – Confidentialité

Le conservateur s'interdit de révéler les faits, informations ou documents dont il a obtenu connaissance dans l'exercice ou à l'occasion de l'exercice de ses fonctions, et qui auraient un caractère secret de par leur nature ou de par les prescriptions d'un supérieur hiérarchique, à moins d'en être dispensé par une autorité hiérarchique.

Outre les limites fixées par la loi, la confidentialité s'applique notamment aux projets d'acquisitions, à toutes les opérations en cours liées au marché et à toute information liée à la protection de la vie privée.

Les informations relatives à la sécurité des musées ou des collections et des locaux privés (notamment les résidences des collectionneurs) visités dans l'exercice des fonctions font l'objet de la plus stricte confidentialité de la part du conservateur.

La confidentialité ne saurait entraver l'obligation juridique d'aider tout pouvoir public compétent à enquêter sur des biens pouvant avoir été acquis ou transférés illégalement ou volés.

I-4 - Responsabilité professionnelle

Le conservateur s'oblige à appliquer et respecter les règles, les politiques et les procédures de son institution. Dans l'exercice de ses responsabilités, il est soutenu par le principe de collégialité en matière d'acquisition, de restauration et de projet scientifique et culturel. Il a le devoir de servir loyalement l'autorité administrative dont il dépend et la personne morale qui l'emploie. Toutefois, il lui est possible de manifester à celles-ci, dans le respect des devoirs de réserve, de discrétion professionnelle et d'obéissance, son opposition à des pratiques qui lui paraîtraient nuire au musée ou à la profession, et contraires à la déontologie professionnelle. Il est du devoir des autorités dirigeantes et de tutelle des musées de France de prendre en compte cette manifestation pour éclairer leur décision.

Il s'oblige à protéger le musée et le public contre toute conduite professionnelle illégale ou contraire à la déontologie.

I-5 – Cumul d'activités

En dehors des travaux réalisés dans le cadre de la politique scientifique et culturelle de son établissement, le conservateur s'interdit de dispenser en échange de rémunération son savoir ou son temps contre l'intérêt général du musée. Le conservateur agent public agit dans le respect notamment de l'article 25 de la loi du 13 juillet 1983 portant droits et obligations des fonctionnaires, précisé par la loi n° 2007-148 du 2 février 2007 de modernisation de la fonction publique dans son chapitre IV.

I-6 – Commerce et expertise

Le conservateur s'interdit de se livrer directement ou indirectement au commerce ou à l'expertise d'œuvres d'art et d'objets patrimoniaux. Le conservateur est néanmoins autorisé par le ministre ou les autorités de tutelle à procéder à des expertises ordonnées par un tribunal ou à donner des consultations à la demande d'une autorité administrative, après information de l'autorité hiérarchique de l'établissement dont il relève le cas échéant.

Le conservateur procède à l'estimation des objets dont il est responsable (assurance, valorisation des dons, etc.). En cas de risque de contestation du prix d'une acquisition à titre gracieux ou onéreux, il recourt à des services d'expertise indépendants. L'acceptation d'une valeur d'assurance d'un objet prêté au musée n'engage pas le conservateur quant à sa valeur marchande.

Le conservateur s'interdit toute contribution à des catalogues de ventes ou de galeries, et plus largement tout apport scientifique ou intellectuel pouvant valoir expertise commerciale. Il s'interdit également de recommander de manière exclusive un marchand, commissaire-priseur ou expert, et plus largement un quelconque prestataire. Il donne au contraire accès aux annuaires et répertoires de professionnels dans la mesure de son information.

I-7 - Intégrité

Le conservateur s'interdit en toute circonstance de tirer pour son intérêt personnel un avantage indu de sa position officielle.

Il s'oblige à prendre des décisions et à n'agir qu'en fonction de considérations professionnelles. Il doit refuser toute sollicitation morale ou financière extérieure (cadeaux, invitations, avantages en nature, etc...).

I-8 - Droit de collectionner

Le conservateur s'interdit d'entrer en concurrence avec les musées pour l'acquisition d'objets ou pour toute activité personnelle de collecte. Il s'interdit également de vendre un bien culturel dont il est propriétaire, au musée dont il a la charge.

I-9 – Interdiction d'utiliser à des fins personnelles des collections de musée

Le conservateur n'autorise pas les membres du personnel du musée, lui-même, les familles ou les proches, ou toute autre personne, à utiliser, pour un usage personnel ou n'étant pas inclus dans les missions du musée, même provisoirement, des objets provenant des collections du musée.

II- LES COLLECTIONS

Le conservateur est le garant de l'inaliénabilité des collections telle qu'elle est fixée par l'article L 451-5 du code du patrimoine.

Il est responsable des collections dont la garde lui est confiée. Sa mission est de veiller à la conservation des biens matériels et immatériels, à ce que leur restauration soit effectuée dans les meilleures conditions, à ce que leur circulation dans le cadre de prêts ou dépôts s'effectue en toute

sécurité et sans préjudice pour leur bonne conservation. Il doit proposer et pratiquer une politique d'acquisition pertinente et vigilante, enrichir la documentation, l'étude et la publication des collections comme une priorité s'inscrivant dans une démarche scientifique, assurer l'inventaire et la couverture photographique des collections dont il a la charge, exercer un contrôle sur l'ensemble des opérations de reproduction.

II.1 - Conserver

La présente charte ne décrit pas le détail des opérations techniques mises en œuvre dans les musées telles qu' inventaire, marquage, récolement, qui figurent dans les circulaires et documents diffusés par la direction des musées de France.

A- Veiller aux règles de conservation matérielle et de sécurité adaptées

La conservation préventive est un élément essentiel de la politique des musées et de la protection des collections.

- Le conservateur veille à créer et à maintenir un environnement protecteur pour les collections dont il a la garde, qu'elles soient conservées ou exposées. Il s'assure de la bonne conservation des œuvres en dépôt ou en prêt à l'extérieur du musée. En transit, les œuvres doivent être convoyées dans la mesure du possible par le conservateur lui-même ou par la personne compétente et habilitée qu'il mandate.
- Le conservateur veille à ce que les œuvres déposées ne le soient que dans des lieux reconnus conformes, présentant les conditions de sécurité, de conservation et de présentation adéquates.
- Le conservateur met en place un programme régulier de veille sanitaire, d'inspection et de dépistage, ainsi qu'un plan de prévention des risques et d'intervention d'urgence (conflits armés et catastrophes naturelles).
- Le conservateur crée ou maintient un système de gestion des collections qui permette de localiser à tout instant les objets. Il doit assurer une couverture photographique de sécurité des collections. Il assure aux collections les conditions de sécurité et sûreté adaptées et veille à ce que toute disparition ou acte de vandalisme soient signalés aux autorités de police et de gendarmerie compétentes.
- Le conservateur veille à ce que l'utilisation des espaces du musée pour des manifestations publiques ou privées ne porte pas atteinte aux bonnes conditions de conservation des œuvres.
- Le conservateur veille à ce que les dispositifs muséographiques n'utilisent que des produits, matériaux et procédés qui, en fonction du niveau le plus avancé des connaissances, ne nuisent pas aux œuvres, à l'environnement ou aux personnes.

B- Veiller à la mise en œuvre des règles d'inventaire

Tout conservateur est responsable de l'élaboration et de la conservation des inventaires du musée dont il a la charge. Il veille à la mise en œuvre des règles d'inventaire telles qu'elles sont définies dans le titre I^{er} du décret n° 2002-852 du 2 mai 2002 pris en application de la loi relative aux musées de France et dans l'arrêté du 25 mai 2004.

C- Procéder au récolement

Il est du devoir du conservateur de procéder au récolement décennal des collections dont il a la charge. En vertu de l'arrêté du 25 mai 2004, il est rappelé que lorsqu'il quitte ses fonctions, le conservateur compétent remet par la voie hiérarchique à la personne morale propriétaire du musée de France un état récapitulatif des biens inscrits sur les registres de l'inventaire et des dépôts qui, après récolement, sont considérés comme manquants.

D- Signaler les collections en péril

Dans le cas où les collections dont il a la responsabilité se trouvent en péril au sens de l'article L 452-2 du code du patrimoine, le conservateur doit alerter son autorité hiérarchique ou de tutelle, et, dans le silence de celle-ci, l'autorité administrative de l'État qui peut, par décision motivée prise après avis du Haut Conseil des musées de France, mettre en demeure le propriétaire de prendre toutes dispositions pour remédier à cette situation.

E- Respecter les restes humains

Les restes humains sont étudiés, conservés et présentés conformément aux normes professionnelles, dans le respect de la dignité humaine.

F- Respecter les collections vivantes

Pour les collections vivantes, le conservateur respecte les obligations déontologiques ayant inspiré la rédaction des articles 53 à 56 de l'arrêté du 25 mars 2004 du ministère de l'écologie et du développement durable fixant les règles générales de fonctionnement et les caractéristiques générales des installations des établissements zoologiques à caractère fixe et permanent, présentant au public des spécimens vivants de la faune locale ou étrangère et relevant de la rubrique 21-40 de la nomenclature des installations classées pour la protection de l'environnement. Il veille notamment au bien être des animaux, au maintien de la bio-diversité et à la protection de l'environnement. L'exploitation scientifique des collections vivantes est conduite dans le respect des espèces étudiées.

G- Veiller à la sauvegarde du patrimoine culturel immatériel

Dans le cas de patrimoine culturel immatériel, le conservateur se réfère à la Convention de l'UNESCO relative à la protection et la promotion de la diversité des expressions culturelles, signée le 20 octobre 2005 et ratifiée par la France le 18 décembre 2006.

L'acquisition, la production et la diffusion de collectes orales requiert des précautions qui ont trait essentiellement au respect du témoin, de sa voix et de son image, et parfois même de son autorisation.

II-2 Prêter et déposer

a- Décision

En prêtant et en déposant, le conservateur contribue activement à la diffusion culturelle car il donne au public les moyens de mieux connaître les collections dont il a la responsabilité. Aussi doit-il toujours tenter de répondre favorablement aux demandes de prêts et de dépôts après s'être assuré de la pertinence scientifique du projet les suscitant, de l'état de conservation des biens, des garanties de sécurité et de conservation prévues pour le transport et le lieu d'exposition et de la capacité technique du musée sollicité à gérer les opérations de prêt.

La mobilité et la circulation des collections demeurent toujours soumises à leur capacité physique à surmonter l'épreuve du déplacement. Les prêts et les dépôts ne doivent jamais conduire à la dégradation des œuvres. Si la conservation physique des œuvres demandées ne permet pas de répondre favorablement à une demande de prêt ou de dépôt, le conservateur donnera à l'institution emprunteuse toutes les explications légitimant ce refus.

b- Contrôle

Pendant toute leur durée, les prêts et dépôts ne peuvent être consentis que si le bénéficiaire accepte un contrôle assuré par toute personne qualifiée désignée par le prêteur ou le déposant sur les conditions d'exposition, de sécurité ou de conservation du bien et s'il s'engage, sauf convention contraire, à supporter les frais de restauration en cas de détérioration du bien. La souscription d'un

contrat d'assurance spécifique aux types de risques encourus ou d'une garantie gouvernementale s'impose, sans faire pression sur l'emprunteur quant au choix du prestataire. La clause permettant à l'assureur de se substituer au propriétaire (non-restitution d'un bien volé et retrouvé si indemnisation) est rigoureusement proscrite en vertu de l'inaliénabilité des collections des musées de France. Le transport doit être assuré par du personnel qualifié ou des entreprises spécialisées.

c- Contreparties

Les collections des musées de France ne se monnayent pas. Elles ne peuvent être assimilées à une marchandise. Leur prêt ne peut être subordonné à un prix de location, et doit être envisagé exclusivement si un but culturel d'intérêt général le justifie.

Il peut toutefois être justifié et créateur de ressources pour les musées de faire circuler des expositions conçues à partir de la collection.

De telles initiatives sont légitimes dans la mesure où elles contribuent à la connaissance et à la diffusion des collections et de la culture de la France dans le monde. Le prêt des collections d'un musée, en échange d'une somme d'argent, n'est acceptable que dans des cas exceptionnels, et dans la mesure où les enjeux sont culturels, scientifiques et de coopération interinstitutionnelle ou internationale, où ils permettent d'améliorer les conditions d'enrichissement, de conservation et de présentation des collections et favorisent le rayonnement national et international du musée et une plus grande diffusion auprès du public.

Cependant, les présentations de ce type ne doivent jamais prendre le pas sur des projets qui n'ont pas de réciprocité financière mais qui sont justifiés par leur seul intérêt scientifique et culturel, ou qui résultent de demandes argumentées de prêts ou dépôts d'autres musées et notamment de musées de France en région. Cette priorité doit être accordée même si de tels projets conduisent à différer une présentation d'œuvres génératrice de ressources monétaires. L'inobservation de cette discipline ferait rapidement perdre aux musées de France leur caractéristique de service public et leur haute mission de partage désintéressé de la culture.

Chaque fois que cela est possible, le conservateur veille à ne pas demander de frais pour la gestion des dossiers de prêt.

L'usage de faire prendre en charge par l'emprunteur la restauration, l'encadrement ou le montage des biens empruntés est acceptable ponctuellement, notamment lorsque ces frais atteignent un montant très élevé et concernent une œuvre qui ne fait pas l'objet d'une présentation permanente.

II.3 - Restaurer

A - Programme et procédure de restauration

a- Consultation

Toute restauration d'un bien faisant partie d'une collection d'un musée de France est précédée de la consultation des instances scientifiques prévues à l'article L452-1 du code du patrimoine.

b- Programme

Le conservateur établit un programme de conservation et de restauration assurant le suivi de toutes les collections dont il a la charge.

c- Procédure de restauration

Le but principal d'une intervention doit être la conservation de l'objet ou du spécimen. Toute procédure de conservation et de restauration doit être documentée et aussi réversible que possible ; toute transformation de l'objet ou spécimen original doit être clairement identifiable. Le conservateur veille à ce que soit respectée l'intégrité de l'œuvre. Des arguments valables du point de vue de la conservation, ou d'un point de vue historique ou esthétique peuvent cependant justifier la suppression d'éléments lors de l'intervention. Les fragments enlevés, historiquement pertinents, sont conservés et identifiés. La procédure doit être entièrement documentée.

B- Mise en œuvre de la restauration

Toute restauration est opérée sous la direction du conservateur par des restaurateurs spécialistes, au sens de l'article L 452-1 du code du patrimoine. La restauration nécessite que l'œuvre soit préalablement documentée. Elle est conduite avec des produits, des matériaux et procédés qui, correspondant au niveau actuel des connaissances, ne nuisent ni aux œuvres, ni à l'environnement, ni aux personnes. Elle doit être, dans la mesure du possible, facilement réversible. Le conservateur veille à ce que chaque restauration fasse l'objet d'un dossier la documentant (examen diagnostic, détail des interventions de conservation et de restauration). Ces documents demeurent accessibles au musée et mentionnent les noms des restaurateurs sollicités. C'est pourquoi le conservateur doit être attentif aux prérogatives d'ordre moral des restaurateurs, dont les dossiers sont conservés pour de futures références.

II.4 - Enrichir

a- Politique d'acquisition

Les collections des musées de France étant inaliénables, le conservateur s'interdit de céder, vendre ou cautionner la vente ou la cession de tout ou partie des collections dont il a la charge, sauf dans le cas prévu par le Code du patrimoine (article L 451-6).

Au contraire, il définit et propose, dans la limite de ses attributions, une politique d'acquisition pertinente et révisée régulièrement s'inscrivant dans le projet scientifique et culturel du musée.

Pour la conduire, il s'appuie sur le principe de collégialité qui préside aux décisions.

b- Avis d'instances scientifiques

En application de l'article L 451-1 du code du patrimoine, toute acquisition, à titre onéreux ou gratuit, d'un bien destiné à enrichir les collections d'un musée de France est soumise à l'avis d'instances scientifiques.

c- Vigilance

Le conservateur exerce une grande vigilance vis à vis de tout projet d'acquisition :

- Aucun bien ne doit être acquis par achat, don ou legs ou échange, si le musée acquéreur n'a pas entrepris toute démarche nécessaire afin de s'assurer de l'origine de la propriété correspond aux cadres légaux. Le conservateur consulte notamment les listes rouges des biens culturels élaborées par l'ICOM.
- Avant l'acquisition d'un objet ou d'un spécimen offert à l'achat, en don, en legs, en dépôt, ou en dépôts croisés, le conservateur s'assure qu'il n'a pas été illégalement acquis dans (ou exporté illicitement de) son pays d'origine ou un pays de transit dans lequel il aurait pu faire l'objet d'un titre légal de propriété.
- Les objets ne doivent pas être issus de fouilles clandestines, de destructions ou de détériorations prohibées, non scientifiques ou intentionnelles de monuments, de sites archéologiques ou géologiques, d'espèces ou d'habitats naturels protégés.

Le conservateur:

- S'assure de l'état de l'œuvre ;
- S'assure de l'authenticité de l'objet, de son attribution, selon les données les plus récentes des connaissances ;
- Etablit l'historique le plus complet possible de l'objet depuis sa découverte ou création ;
- Compare les prix demandés aux prix du marché, éviter les prix trop élevés sans léser le vendeur ;
- Rassemble toutes les informations concernant les droits liés à l'acquisition (droit d'auteur, droit moral, droit de reproduction, droit à l'image, etc.).

En cas de doute sérieux sur l'origine du bien (transmission de propriété, fouilles archéologiques, trafic illicite...), le conservateur s'abstient de proposer, que ce soit à titre onéreux ou gracieux, son acquisition par le musée et doit en référer aux autorités compétentes.

II.5 - Etudier

a- Étude des collections

Le conservateur conduit l'étude des collections de manière constante et la plus complète possible.

b- Accessibilité scientifique des collections

Le conservateur rend les collections et toutes les informations associées aussi librement accessibles que possible en s'aidant des moyens technologiques les mieux adaptés.

c- Recherches

Les recherches menées par le personnel des musées doivent être en rapport avec les missions et les objectifs du musée. Les catalogues des collections doivent être des objectifs prioritaires. Le conservateur est tenu de faire connaître les résultats de ses recherches à la communauté scientifique. Il doit faire en sorte que soit reconnue l'utilisation du travail des personnels scientifiques du musée.

Toute œuvre du musée doit faire l'objet d'un dossier documentaire constamment enrichi dont les sources sont clairement identifiées.

Cette documentation constituée sur les collections dans le cadre des fonctions de conservateur appartient au musée, de même que les documents de recherche qui, le moment venu, doivent être versés aux archives du musée, sous réserve du respect du droit moral du chercheur.

Le conservateur définit les limites de la communication des renseignements contenus dans la documentation (respect de la confidentialité de certaines informations, de la vie privée, du droit moral, etc.).

d- Publications

La publication des collections du musée dans lequel il se trouve doit être une priorité pour tout conservateur.

Les résultats des recherches menées sur les collections ont vocation à être rendus publics. Les informations publiées par les musées, par quelque moyen que ce soit, doivent refléter l'état actuel des connaissances. Les publications du musée respectent les droits et les usages en la matière, et notamment le Code de la propriété intellectuelle.

e- Expositions

Le choix des thèmes, la sélection des objets présentés, leur qualité et leur provenance doivent, tout en faisant l'objet de la plus grande vigilance scientifique, contribuer à l'enrichissement des connaissances.

f- Détention des droits sur les objets étudiés

Lorsque le conservateur expose ou publie des objets qui n'appartiennent pas à l'établissement dont il a la charge, un accord écrit doit être signé avec le propriétaire concernant tous les droits relatifs aux travaux réalisés.

g- Reproductions photographiques

La couverture photographique des collections est une tâche prioritaire. Le conservateur s'assure que le musée dispose des droits d'utilisation des photographies par toute disposition contractuelle nécessaire avec l'auteur des clichés.

Les photographies faites par le conservateur dans l'exercice de ses fonctions appartiennent au musée, sans préjudice de son droit moral.

Le conservateur veille, pour sa propre utilisation comme pour celle de son institution, à respecter le droit d'auteur de l'artiste et du photographe pendant la durée légale de la protection de leurs droits. Pour tout autre utilisateur, la nécessité demeure de s'acquitter auprès des auteurs ou éditeurs des demandes d'autorisation d'usage et des droits nécessaires.

Il facilite la prise de vue photographique des objets dont il a la charge, sous réserve d'éviter des nuisances pour le public, pour le personnel et pour l'objet. En cas d'usage commercial, le musée est en droit de percevoir des recettes spécifiques pour mise à disposition des locaux, des œuvres et du personnel. Le conservateur est invité à exiger des agences photographiques ou des éditeurs un exemplaire du cliché et de la publication où il figure.

Il peut aussi s'opposer à une utilisation portant atteinte à la signification de l'œuvre ou dégradant l'image du musée.

h- Reproductions, moulages, copies, objets dérivés

Le conservateur exerce un contrôle sur l'ensemble des opérations de reproduction afin de préserver l'intégrité des œuvres, le droit moral et patrimonial des auteurs, et la qualité des résultats.

Dans le cas des copies peintes, il s'assure que les dimensions de l'œuvre originale sont modifiées et que toute disposition a été prise afin d'éviter toute confusion entre l'œuvre originale et sa reproduction.

Le conservateur veille à ce que toute édition (de sculpture, de gravure...) soit conforme à la législation en vigueur et au Code des fondateurs et ne constitue pas une diffusion abusive de l'œuvre ou de l'image. Son statut doit pouvoir être clairement identifié (exemplaire d'édition ou reproduction). Sous prétexte de bénéfices, le conservateur ne doit en aucun cas valider des produits dérivés qui, dans leur aspect ou leur conditionnement, sont susceptibles de dénaturer l'image du musée ou d'en dévaloriser l'objet.

i- Droit de propriété littéraire et artistique du conservateur

Dans la mesure strictement nécessaire à l'accomplissement d'une mission de service public, le droit d'exploitation d'une œuvre créée par un conservateur, agent de droit public, dans l'exercice de ses fonctions ou d'après les instructions reçues est, dès la création, cédé de plein droit à l'Etat ou à l'établissement dont il relève le cas échéant.

Les modalités de rémunération dudit conservateur sont fixées conformément aux dispositions du Code de la propriété intellectuelle et à la politique définie par sa tutelle.

III- LA POLITIQUE DES PUBLICS

a - Accueil et accessibilité

Le conservateur respecte les normes veillant à la qualité de l'accueil .

Il rend les collections accessibles au public le plus large, et doit être sensibilisé à l'accès des personnes handicapées (tous handicaps confondus) en application de la loi sur l'égalité des chances et des handicaps de février 2005.

b - Présentation, diffusion

Le conservateur a le devoir de présenter les œuvres dans les meilleures conditions de visite, conformément à un projet scientifique et culturel s'inscrivant dans la politique de l'établissement dont il relève. Il doit faciliter la compréhension des objets par tout support (textes, audioguides), en veillant à la traduction en trois langues, si le français n'est pas la seule langue utilisée.

c - Connaissance des publics

Toute étude ou enquête visant à une meilleure connaissance des publics doit être réalisée conformément aux normes en vigueur en matière de respect de la personne.

d - Action culturelle

Le conservateur a le devoir de développer le rôle culturel, éducatif et social de son établissement. En application de l'article L 442-7 du code du patrimoine, le conservateur doit soutenir et développer les services ayant la charge de l'accueil du public, de la diffusion, de l'animation et de la médiation culturelles. Il veille à ce que les activités du musée soient organisées de manière à ne pas nuire à la mission statutaire du musée et à rester en cohérence avec son programme scientifique et culturel. Dans cette limite, il s'attache à ouvrir le musée à l'accueil des activités et des disciplines les plus diverses. Le contrôle du contenu de ces activités revient aux conservateurs.

e - Sociétés de soutien et action de mécénat

Le conservateur veille à ce que les activités des associations de soutien se déroulent en accord avec les règles de l'établissement dont il relève.

Il veille à l'élaboration des conventions avec ces associations et s'assure du statut des bénévoles.

Dans le cadre de la législation favorisant le mécénat des entreprises et des particuliers, il veille à l'élaboration d'une charte des projets susceptibles de faire l'objet d'actes de mécénat et des actions en reconnaissance de ceux-ci.

Je vous invite à avertir les services de la direction des musées de France de toutes les observations et propositions de nature à enrichir progressivement et faire évoluer en tant que de besoin la présente charte, dont les versions mises à jour seront soumises au Haut Conseil des musées de France ainsi qu'aux instances spécifiques de l'éthique et de déontologie de la gestion du patrimoine culturel qui pourraient être mises en place, sous le timbre suivant : Direction des musées de France (Inspection générale des musées), 6, rue des Pyramides, 75041 Paris – cedex 01.

Le ministre de la culture et de la communication

2009 年 3 月 1 日 発行

財団法人 日本博物館協会

ICOM 日本委員会

独立行政法人 国立科学博物館

問い合わせ先 国立科学博物館 広報・サービス部長 上野喜代人

(表 4 空白)